令和元年度

市民意識調査報告書

蕨市マスコットコットキャラクター「ワラビー」

蕨　　市

目次

調査の概要

１　目的 …… 1
２　調査内容 …… 1
３　調査方法 …… 1
４　回収結果 …… 1

調査の結果

【まちへの愛着】
問１　「自分のまち」としての愛着 …… 2
問２　愛着を感じている理由 …… 4

【永住意識】
問３　永住意識 …… 6
問４　住みたいと思う理由 …… 8
問５　住みたいと思わない理由 …… １２

【まちづくり】
＜防災について＞
問６　防災への備え …… １６
問７　災害発生時の情報取得 …… １８
＜子育てについて＞
問８　子育てのしやすさ …… ２０
問９　子育てしやすいと思う理由 …… ２２
問１０　子育てしやすいまちづくりのために大切なこと …… ２４
＜高齢期に大切なことについて＞
問１１　高齢期に大切なこと …… ２６
問１２　高齢期を生き生きと過ごすために大切な環境 …… ２８
＜まちのにぎわいについて＞
問１３　商店街・大型店の利用頻度 …… ３０
問１４　商店街への要望 …… ３２
＜健康づくり、運動・スポーツについて＞
問１５　健康に対する意識 …… ３４
問１６　運動・スポーツの頻度 …… ３６
問１７　運動・スポーツの種類 …… ３８

＜市民活動について＞
問１８　地域等での活動（現在の状況、今後の意向）　……４０
問１９　地域等での活動の参加促進に必要なこと　……４２
＜市民参加について＞
問２０　市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向　……４４
＜協働のまちづくりについて＞
問２１　協働のまちづくりを進めるための行政の取り組み　……４６
＜市街地における魅力ある空間づくりについて＞
問２２　住みやすさの向上に望ましいこと　……４８
問２３　よりよい景観のまちづくりに望ましいこと……４９
＜人口問題への対応について＞
問２４　人口問題への対応に必要な行政の取り組み……５０
＜少子化への対応について＞
問２５　少子化への対応に必要な行政の取り組み　……５１

【重点施策】
問２６　重点施策（重要度・満足度）……５２

回答者の属性

ア　地区　……５９
イ　性別　……５９
ウ　年齢層　……５９
エ　職業　……６０
オ　通勤・通学地　……６０
カ　住宅形態　……６０
キ　居住年数　……６１
ク　家族構成　……６１

調査の概要

1　目的

この調査は、まちの将来像「安心とにぎわい　みんなにあたたかい　日本一のコンパクトシティ蕨」の実現を目指して、市民のまちづくりに対する意見や要望、満足度などを把握し、まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していく上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2　調査内容

１）まちへの愛着
２）永住意識
３）まちづくり
　（ア）防災について
　（イ）子育てについて
　（ウ）高齢期に大切なことについて
　（エ）まちのにぎわいについて
　（オ）健康づくり、運動・スポーツについて
　（カ）市民活動について
　（キ）市民参加について
　（ク）協働のまちづくりについて
　（ケ）市街地における魅力ある空間づくりについて
　（コ）人口問題への対応について
　（サ）少子化への対応について
４）重点施策

3　調査方法

１）調査期間　令和元年8月6日から8月27日まで
２）調査対象　市内在住の18歳以上の男女
３）対象者数　1，000人
４）抽出方法　住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出。
５）調査方法　行政連絡員による送付、郵便による回答

4　回収結果

対象者1，000人に対し、429人から回答があり、回収率は42．9％。

※備考

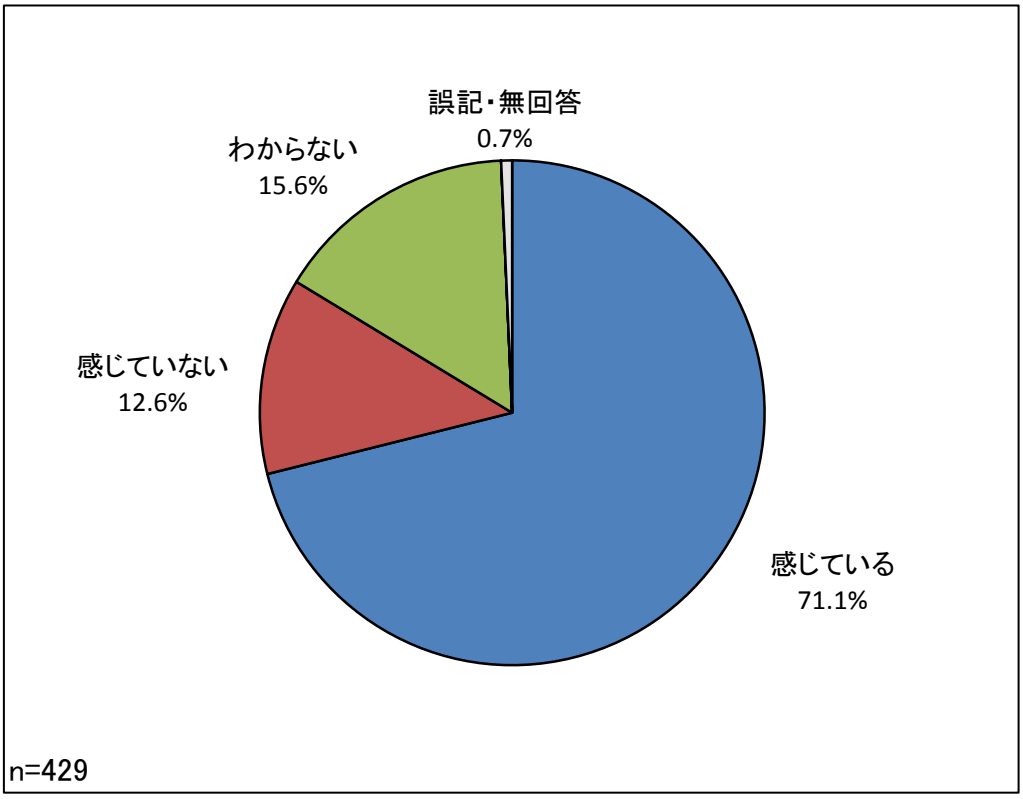
小数点以下第２位を四捨五入しているため、回答割合の合計が１００％にならないことがあります。

調査の結果

【まちへの愛着】

問1　あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。（○印は1つ）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
感じている	305	71.1%	1
感じていない	54	12.6%	3
わからない	67	15.6%	2
誤記・無回答	3	0.7%	

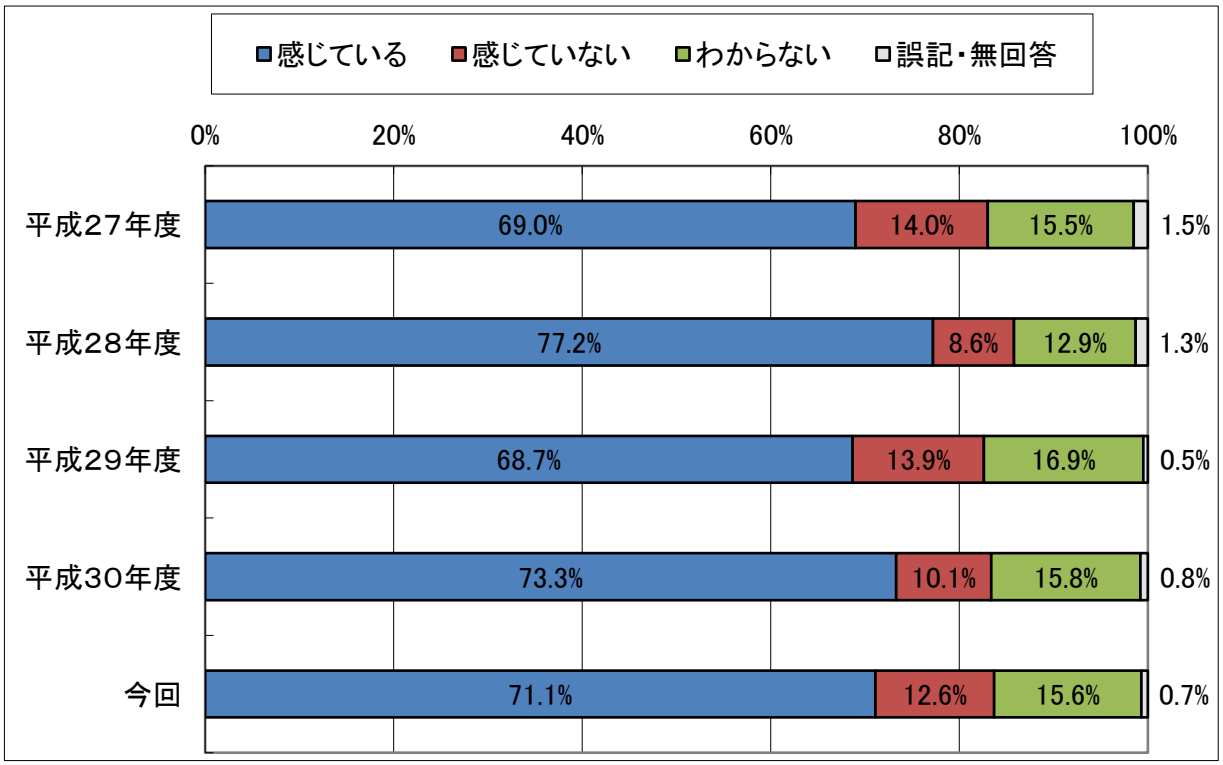


蕨市に自分のまちとしての愛着を感じている人は71.1%となっています。 一方、「感じていない」は12.6%、「わからない」は15.6%となっています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、まちへの愛着を「感じている」人の割合は、おおむね70％前後で横ばい傾向となっています。

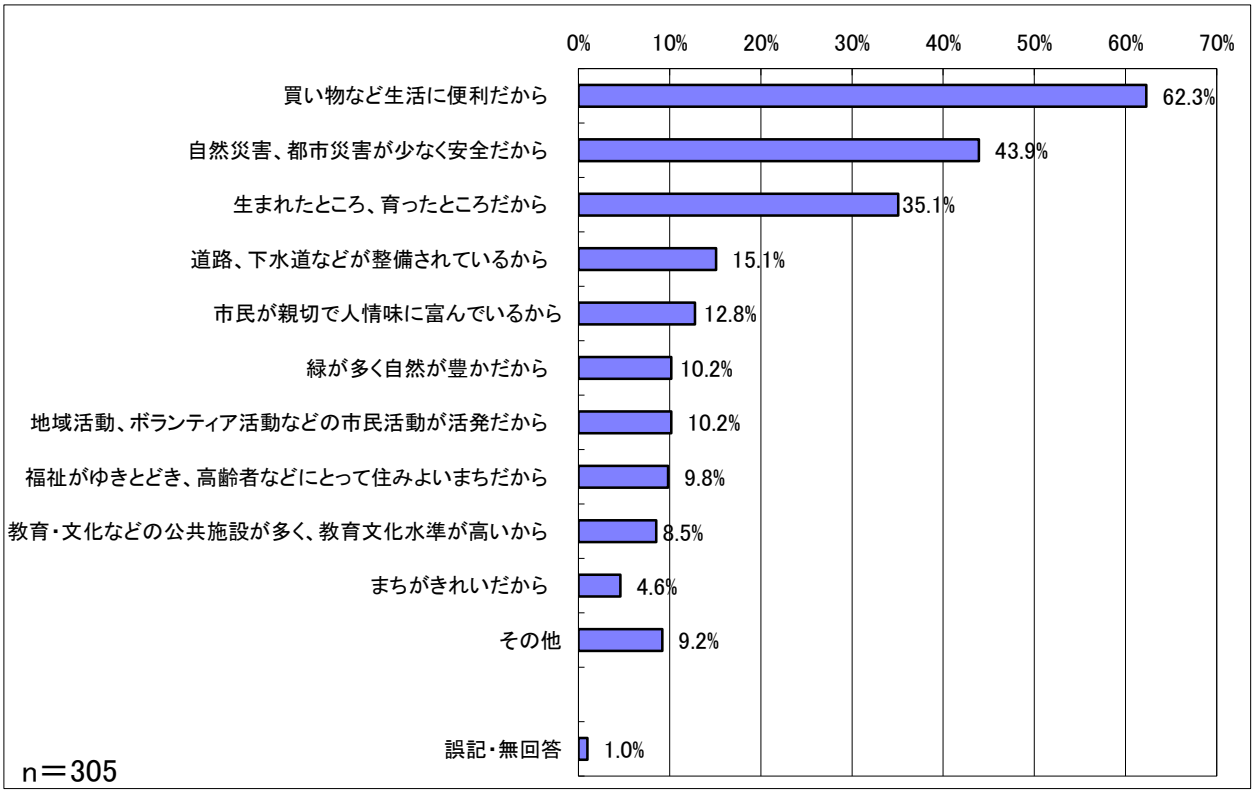
●まちへの愛着（平成27年度からの推移）



問1で「感じている」と答えた人のみ回答

問2　愛着を感じている理由はなんですか。（○印は3つ以内）

回答対象者：305人	件数	割合	順位
買い物など生活に便利だから	190	62.3%	1
自然災害、都市災害が少なく安全だから	134	43.9%	2
生まれたところ、育ったところだから	107	35.1%	3
道路、下水道などが整備されているから	46	15.1%	4
市民が親切で人情味に富んでいるから	39	12.8%	5
緑が多く自然が豊かだから	31	10.2%	6
地域活動、ボランティア活動などの市民活動が活発だから	31	10.2%	6
福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから	30	9.8%	8
教育・文化などの公共施設が多く、教育文化水準が高いから	26	8.5%	9
まちがきれいだから	14	4.6%	10
その他	28	9.2%	―
誤記・無回答	3	1.0%	



蕨市に自分のまちとしての愛着を感じていると答えた人に、その理由をたずねたところ、1位は「買い物など生活に便利だから」が62.3%、以下、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が43.9%、「生まれたところ、育ったところだから」が35.1%、「道路、下水道などが整備されているから」が15.1%と続いています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありません。

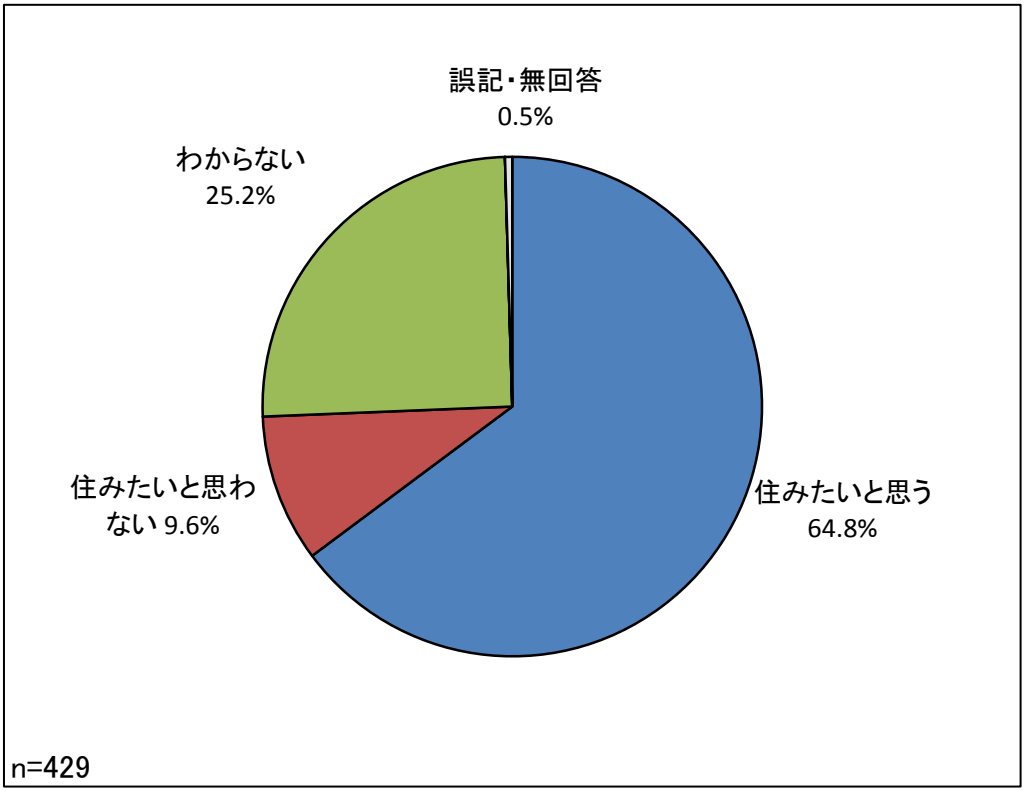
●愛着を感じている理由上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	買い物など生活に便利だから 59.4%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 40.1%	生まれたところ、育ったところだから 31.1%	道路、下水道などが整備されているから 23.7%	市民が親切で人情味に富んでいるから 13.1%
平成28年度	買い物など生活に便利だから 67.2%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 37.7%	生まれたところ、育ったところだから 33.3%	道路、下水道などが整備されているから 19.7%	市民が親切で人情味に富んでいるから 16.9%
平成29年度	買い物など生活に便利だから 60.8%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 41.9%	生まれたところ、育ったところだから 34.5%	道路、下水道などが整備されているから 20.3%	福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから 13.2%
平成30年度	買い物など生活に便利だから 56.8%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 40.3%	生まれたところ、育ったところだから 36.5%	道路、下水道などが整備されているから 20.0%	市民が親切で人情味に富んでいるから 12.7%
今回	買い物など生活に便利だから 62.3%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 43.9%	生まれたところ、育ったところだから 35.1%	道路、下水道などが整備されているから 15.1%	市民が親切で人情味に富んでいるから 12.8%

【永住意識】

問3　あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。（〇印は1つ）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
住みたいと思う	278	64.8%	1
住みたいと思わない	41	9.6%	3
わからない	108	25.2%	2
誤記・無回答	2	0.5%	－

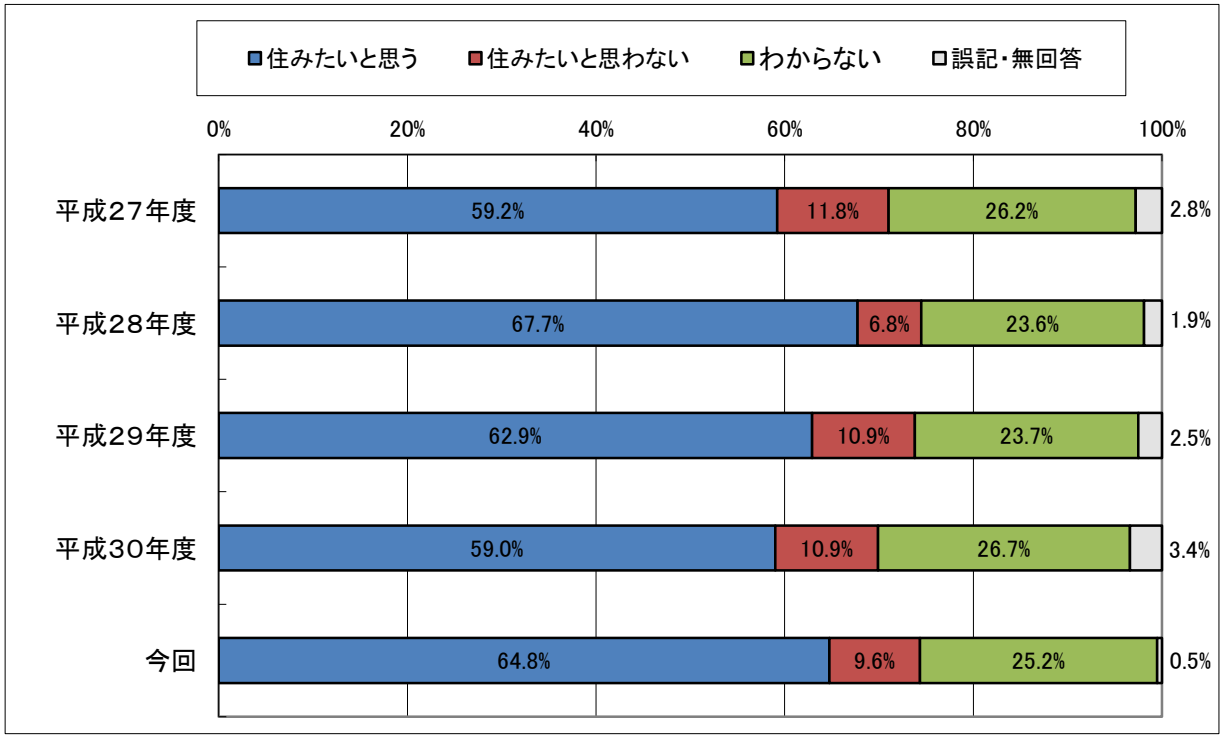


永住の意向についてたずねたところ、住みたいと思う人は64.8%、住みたいと思わない人は9.6%となっています。
一方、25.2%の人が「わからない」と答えています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、これからもずっと蕨市に「住みたいと思う」の割合は、おおむね60％前後で横ばい傾向にありますが、今年度は昨年度に比べると、上昇しています。また、「住みたいと思わない」の割合は、10％前後で推移しています。

●永住意識（平成27年度からの推移）

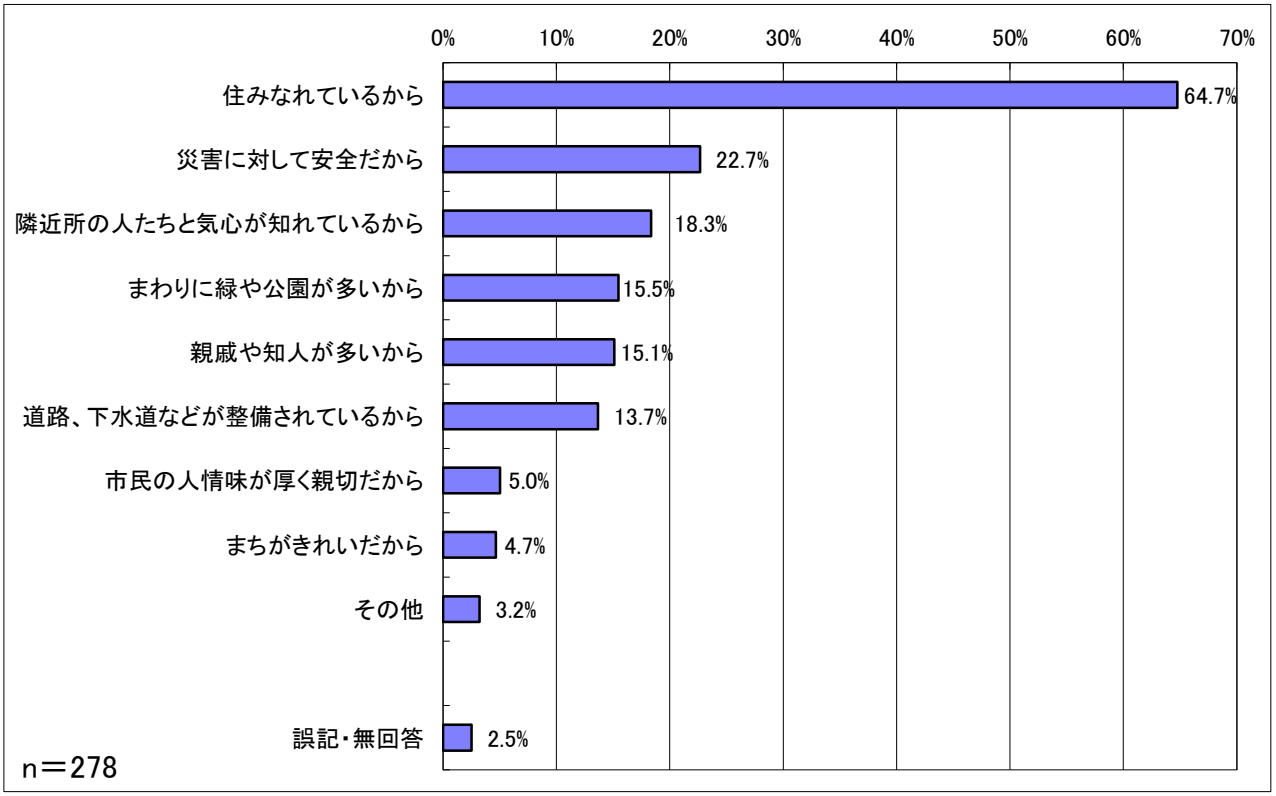


問3で「住みたいと思う」と答えた人のみ回答

問4 住みたいと思う理由は何ですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：278人	件数	割合	順位
住みなれているから	180	64.7%	1
災害に対して安全だから	63	22.7%	2
隣近所の人たちと気心が知れているから	51	18.3%	3
まわりに緑や公園が多いから	43	15.5%	4
親戚や知人が多いから	42	15.1%	5
道路、下水道などが整備されているから	38	13.7%	6
市民の人情味が厚く親切だから	14	5.0%	7
まちがきれいだから	13	4.7%	8
その他	9	3.2%	―
誤記・無回答	7	2.5%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「住みなれているから」が64.7％で最も多く、次いで「災害に対して安全だから」が22.7％、「隣近所の人たちと気心が知れているから」が18.3％、「まわりに緑や公園が多いから」が15.5％と続いています。

＜経年変化＞

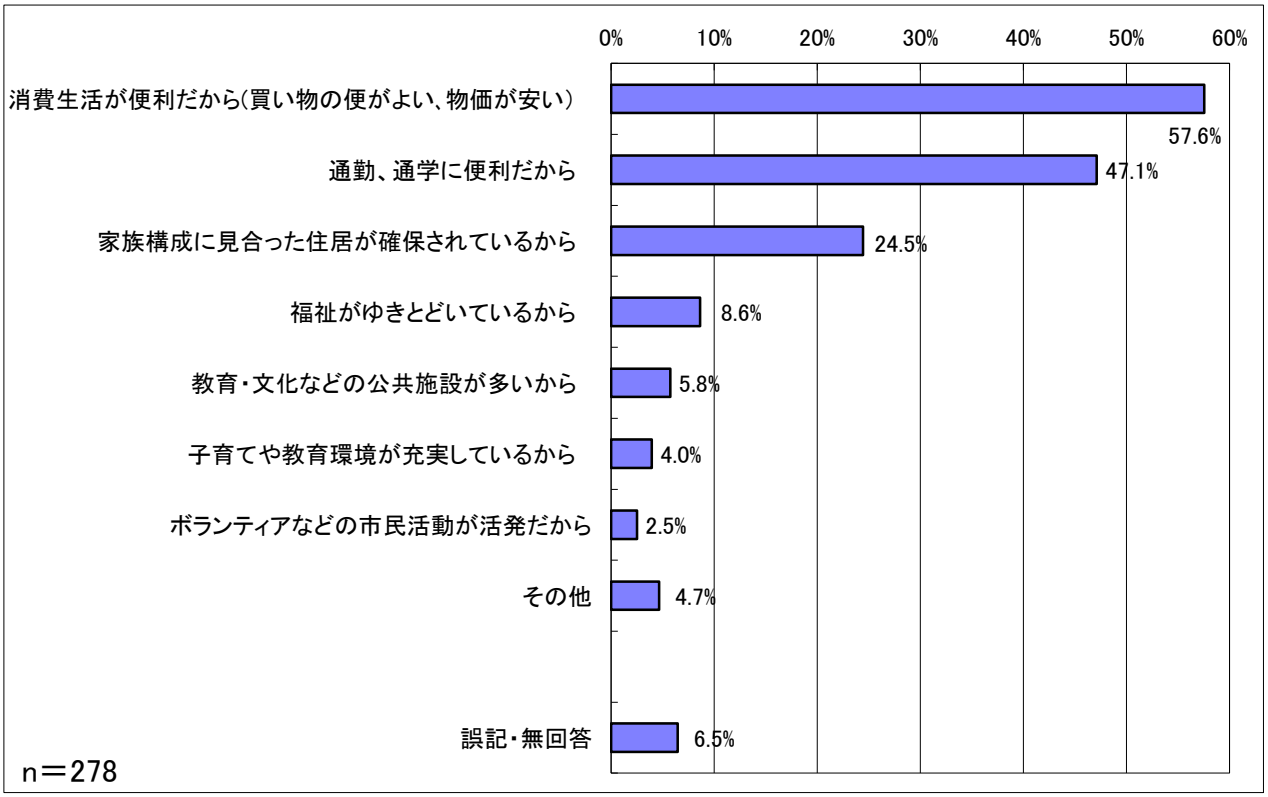
平成27年度からの推移を見ると、住みたいと思う環境上の理由について、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「住みなれているから」が60％前後で推移しています。

●住みたいと思う環境上の理由 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	住みなれているから 59.6%	災害に対して安全だから 21.1%	道路、下水道などが整備されているから 19.3%	隣近所の人たちと気心が知れているから 19.1%	親戚や知人が多いから 11.9%
平成28年度	住みなれているから 60.1%	災害に対して安全だから 26.7%	道路、下水道などが整備されているから 隣近所の人たちと気心が知れているから 17.4%		親戚や知人が多いから 15.9%
平成29年度	住みなれているから 66.1%	災害に対して安全だから 21.0%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.5%	道路、下水道などが整備されているから 17.3%	まわりに緑や公園が多いから 14.0%
平成30年度	住みなれているから 59.1%	道路、下水道などが整備されているから 災害に対して安全だから 19.8%		隣近所の人たちと気心が知れているから 15.8%	親戚や知人が多いから 14.1%
今回	住みなれているから 64.7%	災害に対して安全だから 22.7%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.3%	まわりに緑や公園が多いから 15.5%	親戚や知人が多いから 15.1%

●生活上の理由

回答対象者:278人	件数	割合	順位
消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)	160	57.6%	1
通勤、通学に便利だから	131	47.1%	2
家族構成に見合った住居が確保されているから	68	24.5%	3
福祉がゆきとどいているから	24	8.6%	4
教育・文化などの公共施設が多いから	16	5.8%	5
子育てや教育環境が充実しているから	11	4.0%	6
ボランティアなどの市民活動が活発だから	7	2.5%	7
その他	13	4.7%	―
誤記・無回答	18	6.5%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が57.6%と最も多く、次いで「通勤、通学に便利だから」が47.1%、「家族構成に見合った住居が確保されているから」が24.5%で上位となっています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、今後も住みたいと思う生活上の理由について、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い）」が50％台で推移しています。

●住みたいと思う生活上の理由 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 56.5%	通勤、通学に便利だから 25.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 19.1%	福祉がゆきとどいているから 9.3%	教育・文化などの公共施設が多いから 5.6%
平成28年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 59.2%	通勤、通学に便利だから 41.1%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.3%	福祉がゆきとどいているから 12.1%	子育てや教育環境が充実しているから 4.7%
平成29年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 54.6%	通勤、通学に便利だから 41.7%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.2%	福祉がゆきとどいているから 12.2%	子育てや教育環境が充実しているから 教育・文化などの公共施設が多いから 5.2%
平成30年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 57.0%	通勤、通学に便利だから 44.3%	家族構成に見合った住居が確保されているから 23.5%	福祉がゆきとどいているから 8.7%	子育てや教育環境が充実しているから 6.4%
今回	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 57.6%	通勤、通学に便利だから 47.1%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.5%	福祉がゆきとどいているから 8.6%	教育・文化などの公共施設が多いから 5.8%

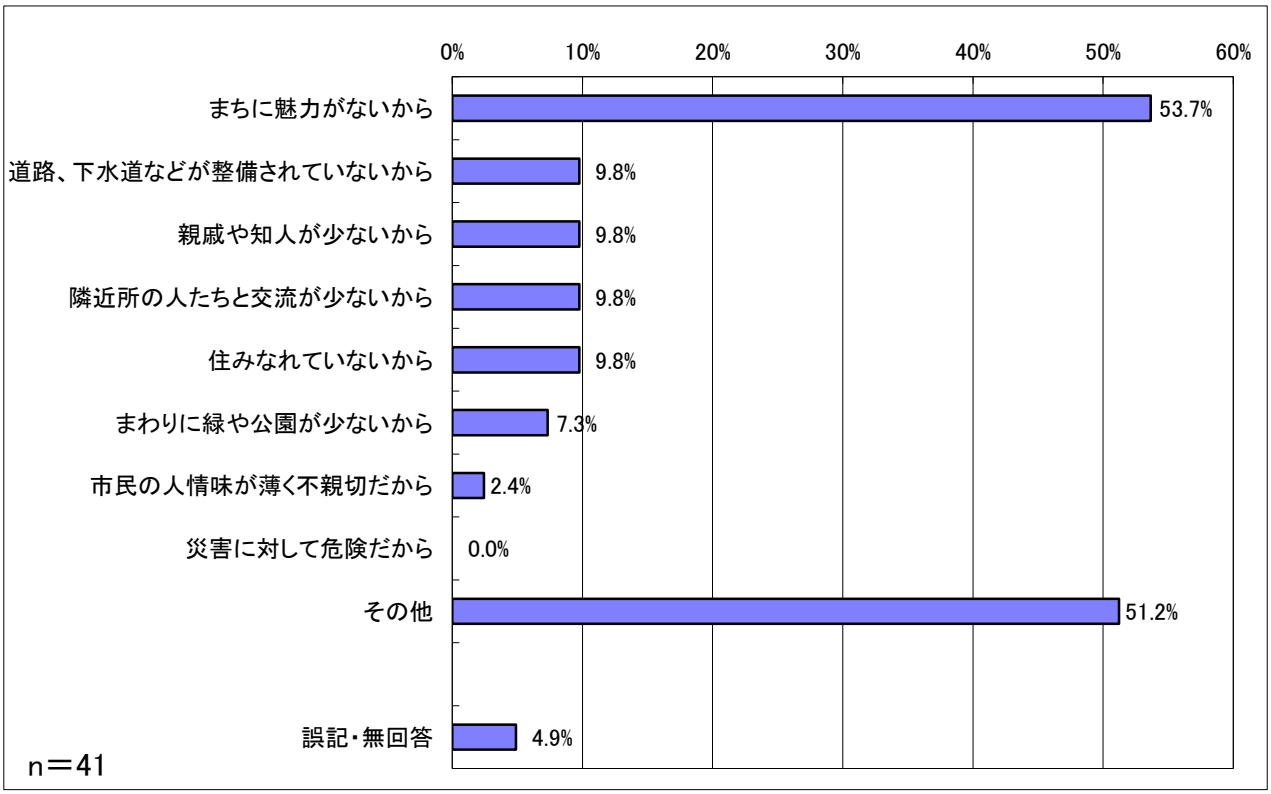
※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問3で「住みたいと思わない」と答えた人のみ回答

問5 住みたいと思わない理由は何ですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：41人	件数	割合	順位
まちに魅力がないから	22	53.7%	1
道路、下水道などが整備されていないから	4	9.8%	2
親戚や知人が少ないから	4	9.8%	2
隣近所の人たちと交流が少ないから	4	9.8%	2
住みなれていないから	4	9.8%	2
まわりに緑や公園が少ないから	3	7.3%	6
市民の人情味が薄く不親切だから	1	2.4%	7
災害に対して危険だから	0	0.0%	8
その他	21	51.2%	―
誤記・無回答	2	4.9%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「まちに魅力がないから」が53.7%と最も多く、次いで「道路、下水道などが整備されていないから」、「親戚や知人が少ないから」、「隣近所の人たちと交流が少ないから」、「住みなれていないから」が9.8%と続いています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に多少の変動はありますが、1位は「まちに魅力がないから」となっています。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

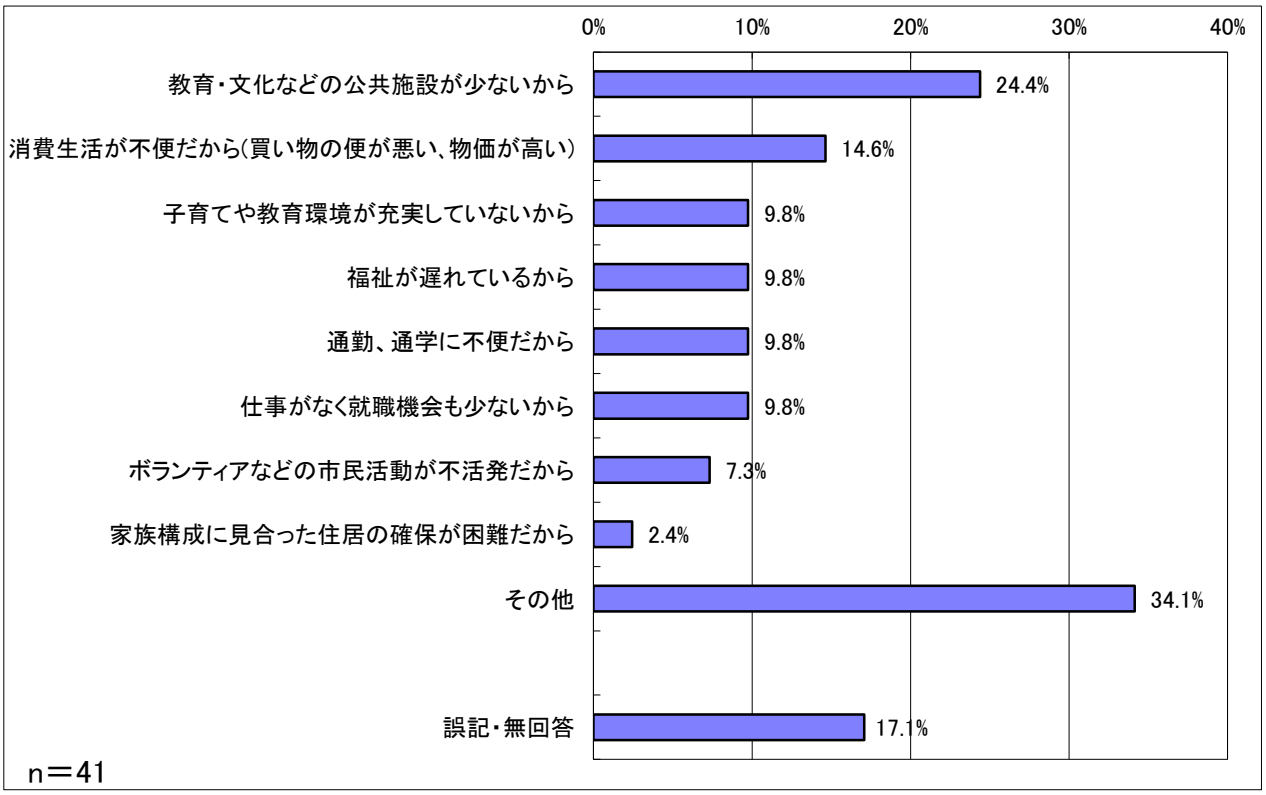
●住みたいと思わない環境上の理由 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	まちに魅力がないから 38.0%	まわりに緑や公園が少ないから 14.0%	住みなれていないから 12.0%	災害に対して危険だから 10.0%	道路、下水道などが整備されていないから 8.0%
平成28年度	まちに魅力がないから 53.1%	災害に対して危険だから 18.8%	まわりに緑や公園が少ないから 道路、下水道などが整備されていないから 12.5%		親戚や知人が少ないから 9.4%
平成29年度	まちに魅力がないから 42.6%	親戚や知人が少ないから 29.8%	住みなれていないから 14.9%	災害に対して危険だから 隣近所の人たちと交流が少ないから 10.6%	
平成30年度	まちに魅力がないから 36.4%	まわりに緑や公園が少ないから 21.8%	住みなれていないから 親戚や知人が少ないから 18.2%		市民の人情味が薄く不親切だから 7.3%
今回	まちに魅力がないから 53.7%	道路、下水道などが整備されていないから 親戚や知人が少ないから 隣近所の人たちと交流が少ないから 住みなれていないから 9.8%			

※「その他」は除く

●生活上の理由

回答対象者:41人	件数	割合	順位
教育・文化などの公共施設が少ないから	10	24.4%	1
消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)	6	14.6%	2
子育てや教育環境が充実していないから	4	9.8%	3
福祉が遅れているから	4	9.8%	3
通勤、通学に不便だから	4	9.8%	3
仕事がなく就職機会も少ないから	4	9.8%	3
ボランティアなどの市民活動が不活発だから	3	7.3%	7
家族構成に見合った住居の確保が困難だから	1	2.4%	8
その他	14	34.1%	―
誤記・無回答	7	17.1%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「教育・文化などの公共施設が少ないから」(24.4%)が最多でした。次いで、「消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)」が14.6%、「子育てや教育環境が充実していないから」、「福祉が遅れているから」、「通勤、通学に不便だから」、「仕事がなく就職機会も少ないから」が9.8%と続いています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に多少の変動はありますが、近年は「教育・文化などの公共施設が少ないから」が1位となっています。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

●住みたいと思わない生活上の理由 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 18.0%	教育・文化などの公共施設が少ないから 16.0%	福祉が遅れているから 15.0%	通勤、通学に不便だから 14.0%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 13.0%
平成28年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 子育てや教育環境が充実していないから 18.8%			福祉が遅れているから 15.6%	通勤、通学に不便だから／家族構成に見合った住居の確保が困難だから 9.4%
平成29年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 25.5%	福祉が遅れているから 消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 14.9%		通勤、通学に不便だから 12.8%	子育てや教育環境が充実していないから 10.6%
平成30年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 23.6%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 子育てや教育環境が充実していないから 18.2%		消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 14.5%	通勤、通学に不便だから 10.9%
今回	教育・文化などの公共施設が少ないから 24.4%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 14.6%	子育てや教育環境が充実していないから 福祉が遅れているから 通勤、通学に不便だから 仕事がなく就職機会も少ないから 9.8%		

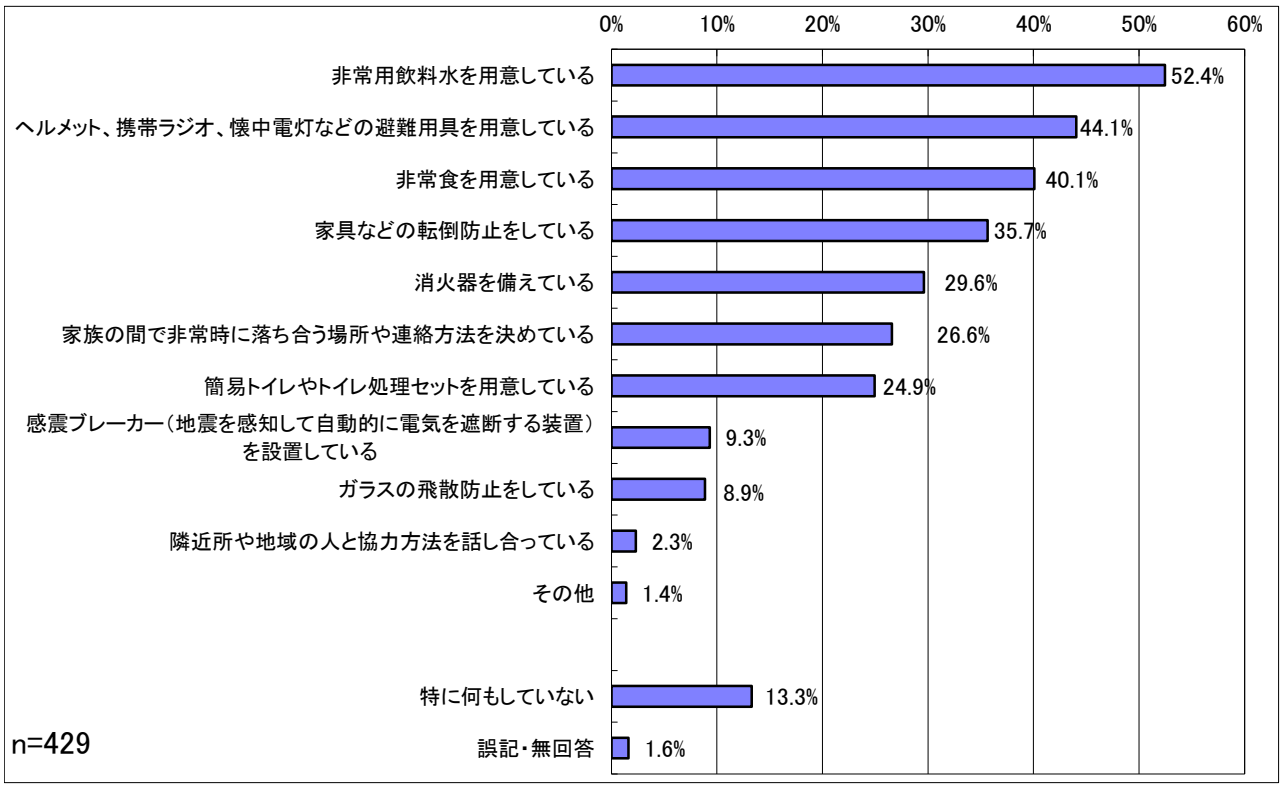
※「その他」は除く
※平成28年度に選択肢の表現を見直し

【まちづくり】

＜防災について＞

問6　あなたの家では、地震などの災害に備えて何か準備をしていますか。
（○印はいくつでも）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
非常用飲料水を用意している	225	52.4%	1
ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している	189	44.1%	2
非常食を用意している	172	40.1%	3
家具などの転倒防止をしている	153	35.7%	4
消火器を備えている	127	29.6%	5
家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	114	26.6%	6
簡易トイレやトイレ処理セットを用意している	107	24.9%	7
感震ブレーカー（地震を感知して自動的に電気を遮断する装置）を設置している	40	9.3%	8
ガラスの飛散防止をしている	38	8.9%	9
隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	10	2.3%	10
その他	6	1.4%	―
特に何もしていない	57	13.3%	
誤記・無回答	7	1.6%	



災害への備えについてたずねたところ、「非常用飲料水を用意している」が52.4%で最も多く、次いで「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」が44.1%、「非常食を用意している」が40.1%となっており、物品の備えに関することが上位になりました。

また、およそ85%の人が何らかの災害に対する備えをしていると回答しています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、「非常用飲料水を用意している」、「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」、「非常食を用意している」といった上位3位までの構成に変化はありません。

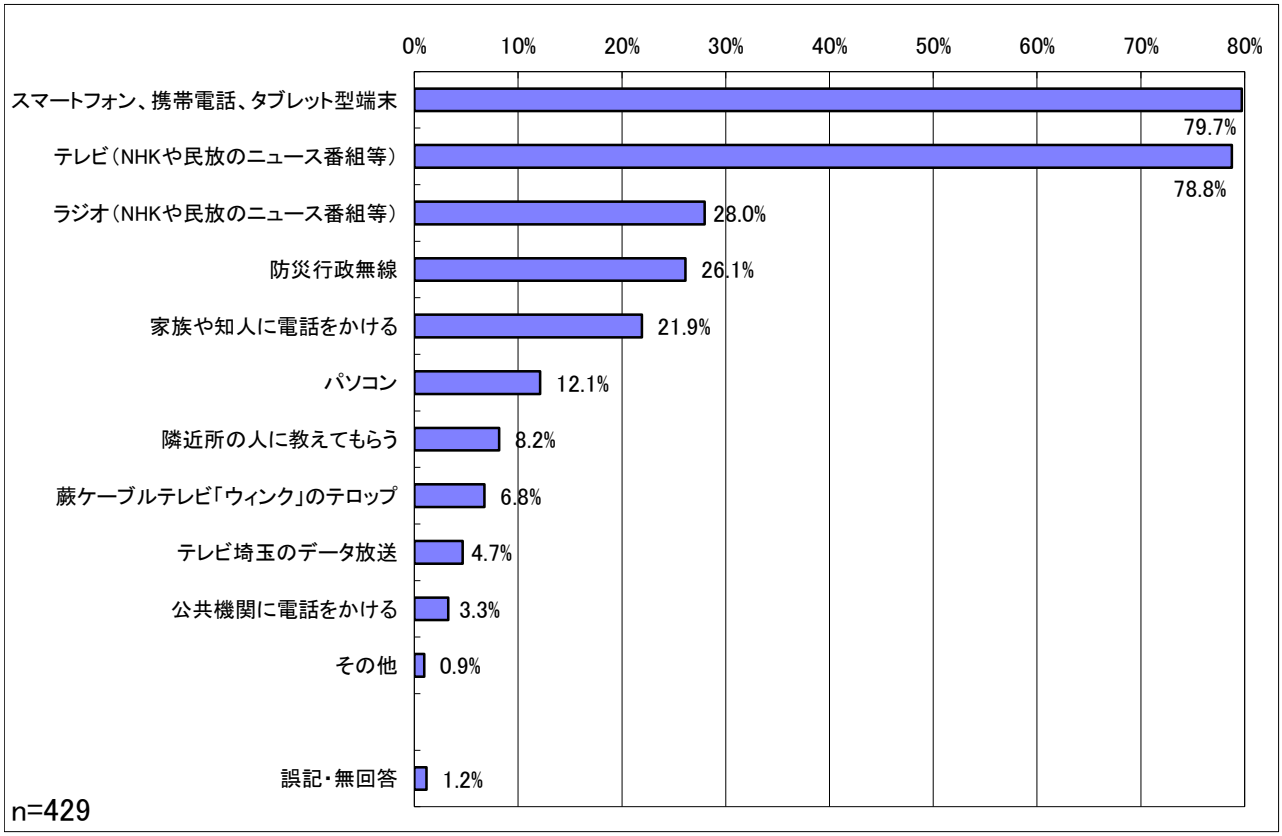
●災害に備えて準備していること 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	非常用飲料水を用意している 52.7%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 48.5%	非常食を用意している 40.8%	消火器を備えている 35.3%	家族の間で落ち合う場所や連絡方法を決めている 29.5%
平成28年度	非常用飲料水を用意している 54.6%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 49.6%	非常食を用意している 39.2%	消火器を備えている 34.8%	家具などの転倒防止をしている 31.0%
平成29年度	非常用飲料水を用意している 54.3%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 45.2%	非常食を用意している 36.4%	消火器を備えている 33.4%	家具などの転倒防止をしている 28.5%
平成30年度	非常用飲料水を用意している 51.9%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 45.5%	非常食を用意している 38.8%	消火器を備えている 34.9%	家具などの転倒防止をしている 32.5%
今回	非常用飲料水を用意している 52.4%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 44.1%	非常食を用意している 40.1%	家具などの転倒防止をしている 35.7%	消火器を備えている 29.6%

※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問7　あなたは災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得しますか。
（○印はいくつでも）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末	342	79.7%	1
テレビ（NHKや民放のニュース番組等）	338	78.8%	2
ラジオ（NHKや民放のニュース番組等）	120	28.0%	3
防災行政無線	112	26.1%	4
家族や知人に電話をかける	94	21.9%	5
パソコン	52	12.1%	6
隣近所の人に教えてもらう	35	8.2%	7
蕨ケーブルテレビ「ウィンク」のテロップ	29	6.8%	8
テレビ埼玉のデータ放送	20	4.7%	9
公共機関に電話をかける	14	3.3%	10
その他	4	0.9%	―
誤記・無回答	5	1.2%	



災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得するかたずねたところ、「スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末」が79.7％で最も多く、次いで「テレビ（NHKや民放のニュース番組等）」が78.8％となっています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、上位の構成に大きな変化はありませんが、「スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末」の割合が逓増し、今年度は1位となっています。

●災害発生時の情報取得方法 上位5位（平成27年度からの推移）

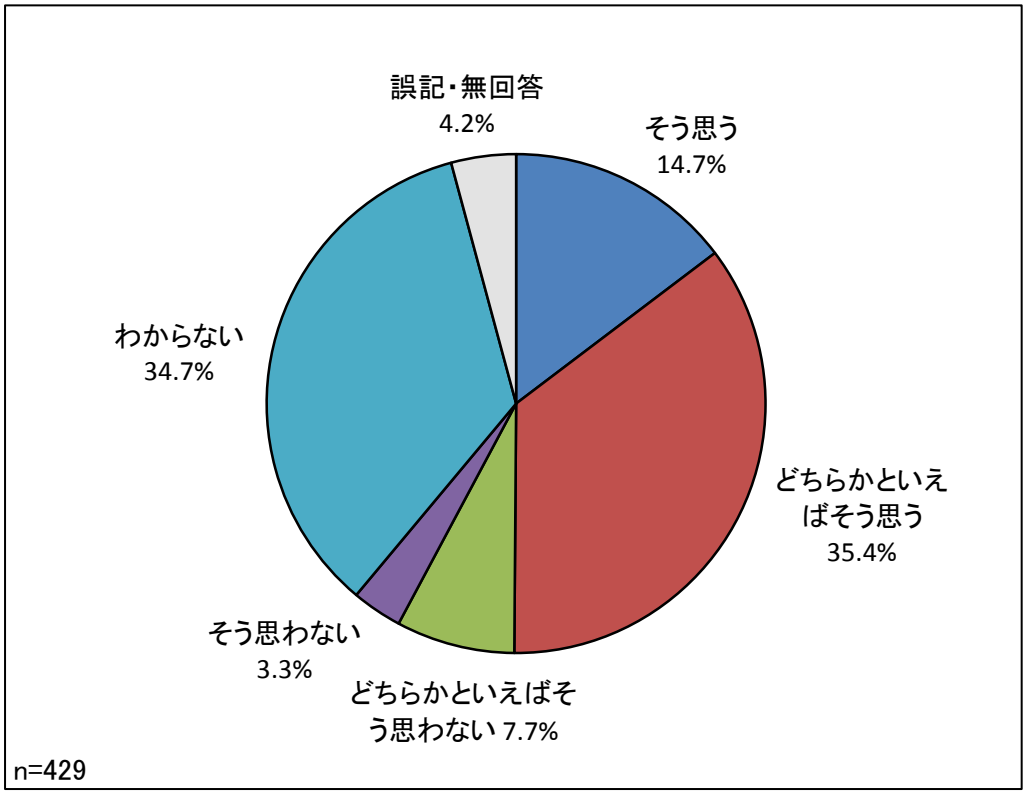
	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	テレビ 80.4%	スマートフォン、携帯電話、タブレット端末 63.6%	ラジオ 40.2%	防災行政無線 25.3%	家族や知人に電話をかける 23.1%
平成28年度	テレビ（NHKや民放のニュース番組等） 82.1%	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 64.1%	ラジオ（NHKや民放のニュース番組等） 38.6%	防災行政無線 22.8%	家族や知人に電話をかける 20.5%
平成29年度	テレビ（NHKや民放のニュース番組等） 78.4%	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 69.8%	ラジオ（NHKや民放のニュース番組等） 34.6%	防災行政無線 29.9%	家族や知人に電話をかける 22.5%
平成30年度	テレビ（NHKや民放のニュース番組等） 76.0%	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 73.1%	ラジオ（NHKや民放のニュース番組等） 38.6%	防災行政無線 27.5%	家族や知人に電話をかける 22.4%
今回	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 79.7%	テレビ（NHKや民放のニュース番組等） 78.8%	ラジオ（NHKや民放のニュース番組等） 28.0%	防災行政無線 26.1%	家族や知人に電話をかける 21.9%

※平成28年度に選択肢の表現を見直し

＜子育てについて＞

問8　蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。（○印は1つ）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
そう思う	63	14.7%	3
どちらかといえばそう思う	152	35.4%	1
どちらかといえばそう思わない	33	7.7%	4
そう思わない	14	3.3%	5
わからない	149	34.7%	2
誤記・無回答	18	4.2%	

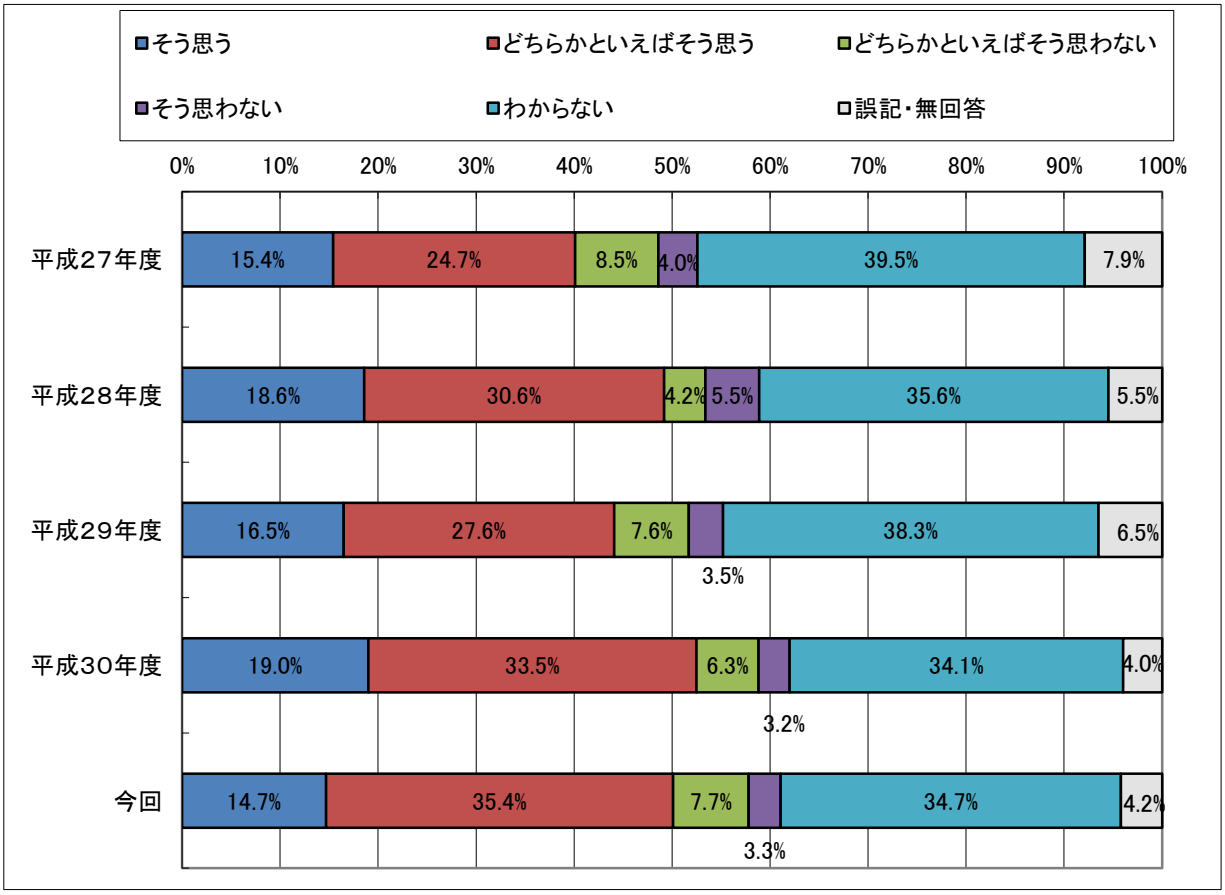


蕨市は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「そう思う」14.7%、「どちらかといえばそう思う」35.4%を合わせると50.1%となり、半数以上の人が子育てしやすいまちと感じていることがわかります。
一方、「わからない」との回答も34.7%に上っています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計は増加傾向となっており、近年では50％程度で推移しています。

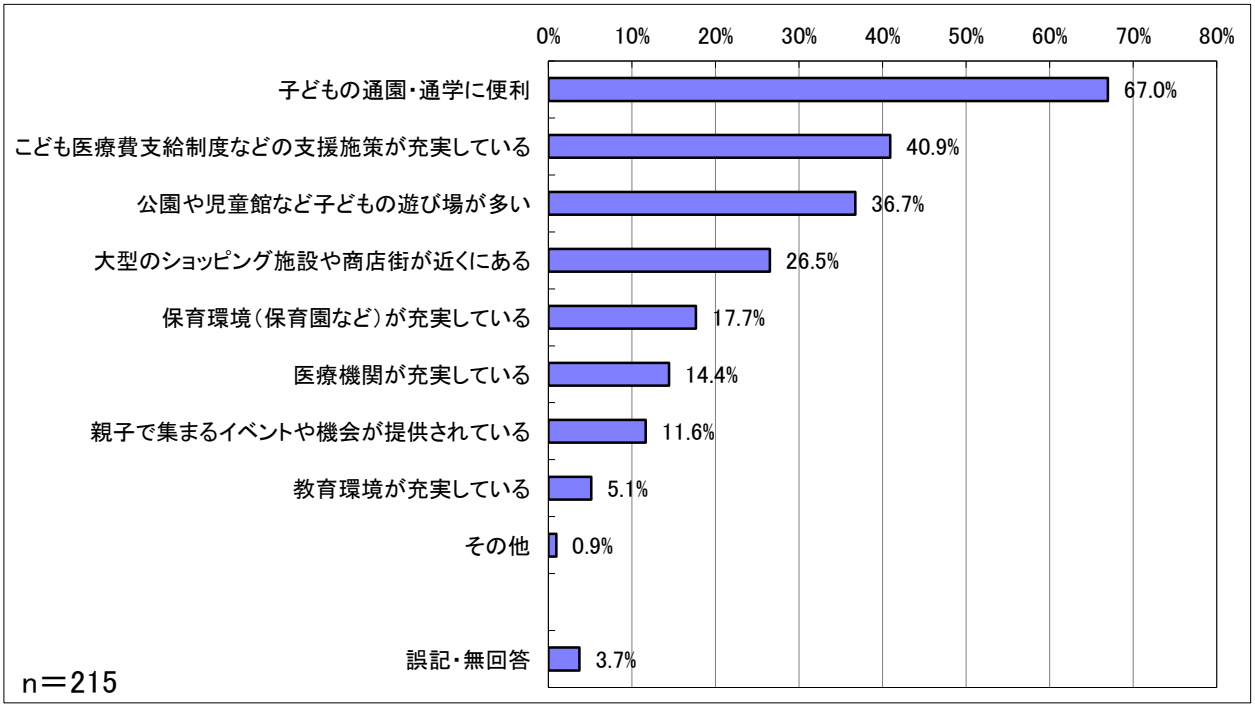
●子育てについて（平成27年度からの推移）



問8で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人のみ回答

問9　子育てがしやすいと思う理由は何ですか。（○印は3つ以内）

回答対象者：215人	件数	割合	順位
子どもの通園・通学に便利	144	67.0%	1
こども医療費支給制度などの支援施策が充実している	88	40.9%	2
公園や児童館など子どもの遊び場が多い	79	36.7%	3
大型のショッピング施設や商店街が近くにある	57	26.5%	4
保育環境（保育園など）が充実している	38	17.7%	5
医療機関が充実している	31	14.4%	6
親子で集まるイベントや機会が提供されている	25	11.6%	7
教育環境が充実している	11	5.1%	8
その他	2	0.9%	－
誤記・無回答	8	3.7%	



蕨市が子育てしやすいまちだと感じている人に、その理由をたずねたところ、1位は「子どもの通園・通学に便利」で67.0%、次いで、「こども医療費支給制度などの支援施策が充実している」が40.9%、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が36.7%、「大型のショッピング施設や商店街が近くにある」が26.5%と続いています。

＜経年変化＞

平成28年度からの推移を見ると、1位に変化はなく、「子どもの通園・通学に便利」が70％前後で推移しています。

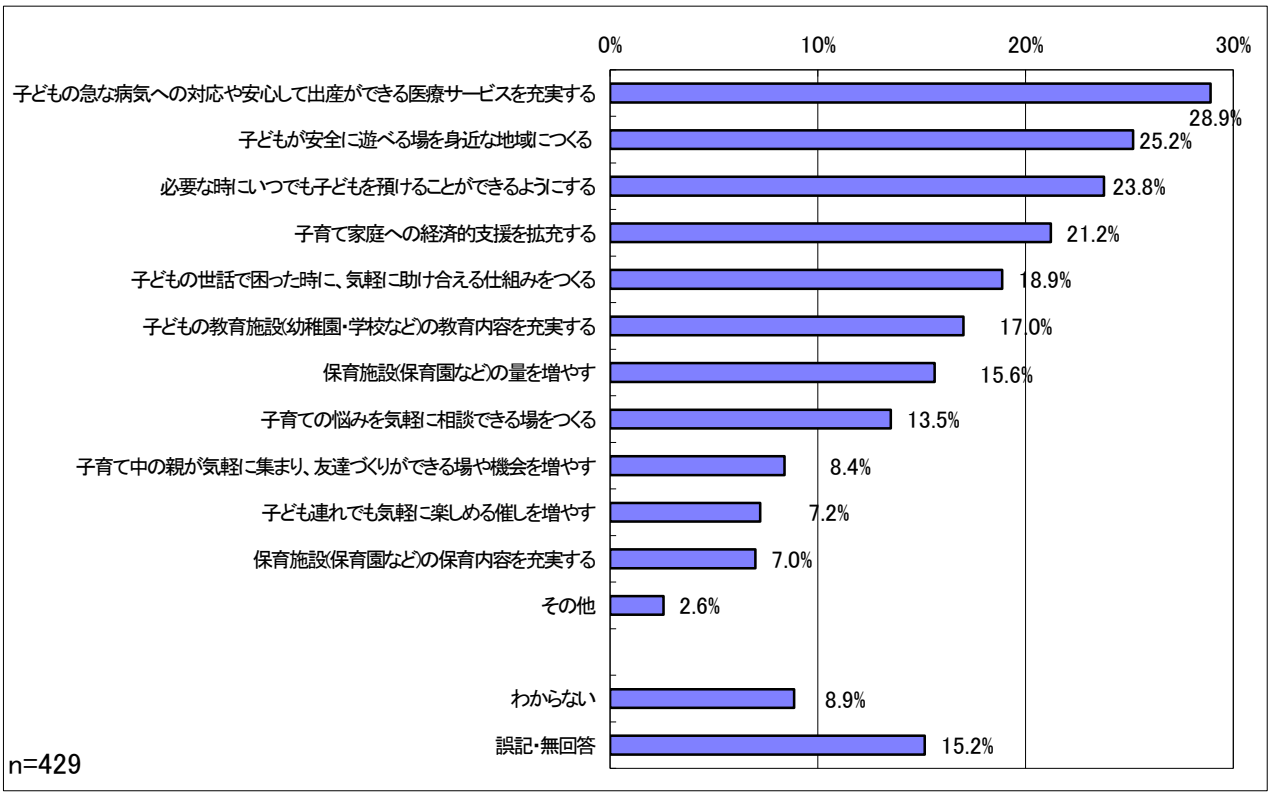
●子育てがしやすいと思う理由 上位5位（平成28年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成28年度	子どもの通園・通学に便利 71.6%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 45.3%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 37.4%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 28.9%	医療機関が充実している 20.0%
平成29年度	子どもの通園・通学に便利 70.8%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 42.1%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 36.5%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 34.3%	親子で集まるイベントや機会が提供されている 16.3%
平成30年度	子どもの通園・通学に便利 65.3%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 40.0%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 35.5%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 29.1%	医療機関が充実している 17.0%
今回	子どもの通園・通学に便利 67.0%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 40.9%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 36.7%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 26.5%	保育環境（保育園など）が充実している 17.7%

※平成30年度に選択肢を見直し

問10 蕨市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する	124	28.9%	1
子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる	108	25.2%	2
必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする	102	23.8%	3
子育て家庭への経済的支援を拡充する	91	21.2%	4
子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる	81	18.9%	5
子どもの教育施設(幼稚園・学校など)の教育内容を充実する	73	17.0%	6
保育施設(保育園など)の量を増やす	67	15.6%	7
子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる	58	13.5%	8
子育て中の親が気軽に集まり、友達づくりができる場や機会を増やす	36	8.4%	9
子ども連れでも気軽に楽しめる催しを増やす	31	7.2%	10
保育施設(保育園など)の保育内容を充実する	30	7.0%	11
その他	11	2.6%	―
わからない	38	8.9%	
誤記・無回答	65	15.2%	



蕨市をより子育てしやすいまちにするために大切なことをたずねたところ、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する」が28.9%と最も多く、次いで、「子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる」が25.2%、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」が23.8%と続いています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありません。

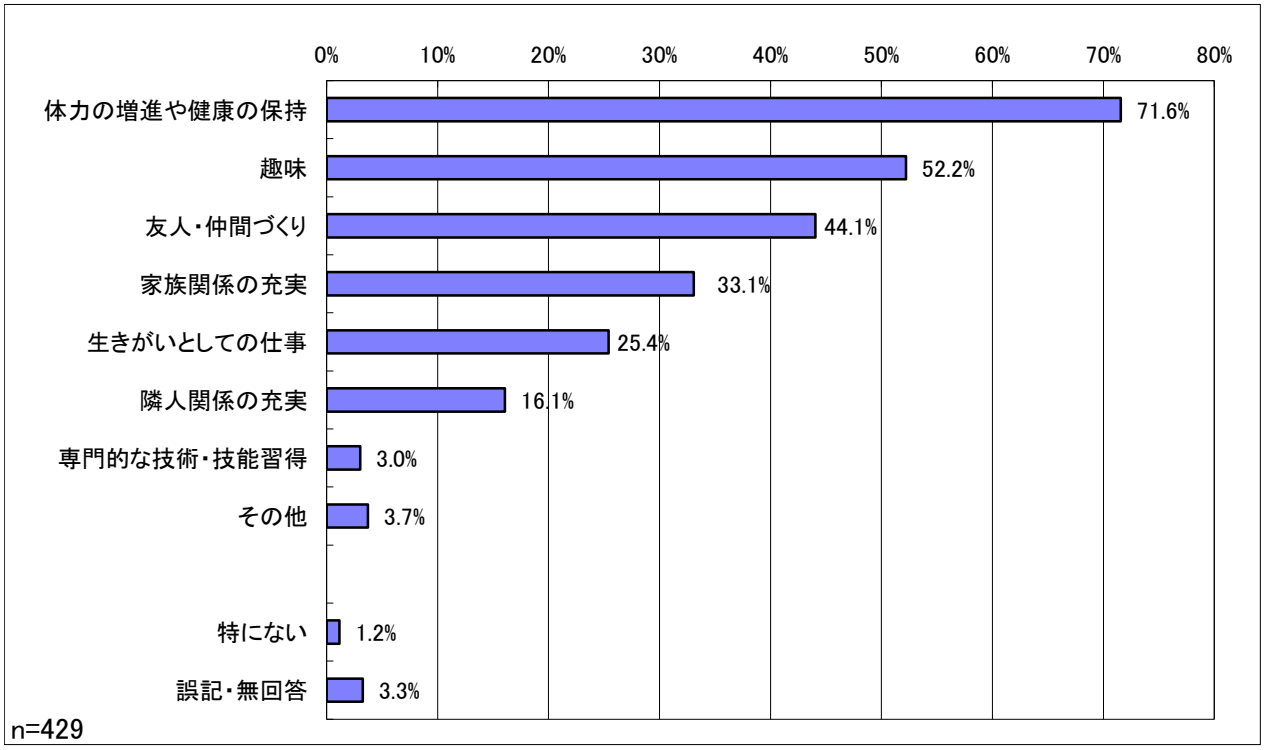
●子育てしやすいまちにするため大切だと思うこと 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 35.9%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.8%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 27.3%	保育施設(保育園など)の量を増やす 20.2%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.6%
平成28年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 32.1%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.4%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 23.0%		子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 20.7%
平成29年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 29.2%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.9%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 26.0%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 20.2%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 19.7%
平成30年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 31.3%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.7%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 24.2%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.8%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 18.0%
今回	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 28.9%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 25.2%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 23.8%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 21.2%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 18.9%

＜高齢期に大切なことについて＞

問11 あなたが高齢期を迎える（迎えた）ときに何が大切だと思いますか。
（○印は3つ以内）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
体力の増進や健康の保持	307	71.6%	1
趣味	224	52.2%	2
友人・仲間づくり	189	44.1%	3
家族関係の充実	142	33.1%	4
生きがいとしての仕事	109	25.4%	5
隣人関係の充実	69	16.1%	6
専門的な技術・技能習得	13	3.0%	7
その他	16	3.7%	―
特にない	5	1.2%	
誤記・無回答	14	3.3%	



高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うことについてたずねたところ、「体力の増進や健康の保持」が71.6%と最も多く、次いで、「趣味」が52.2%、「友人・仲間づくり」が44.1%、「家族関係の充実」が33.1%となっています。

＜経年変化＞

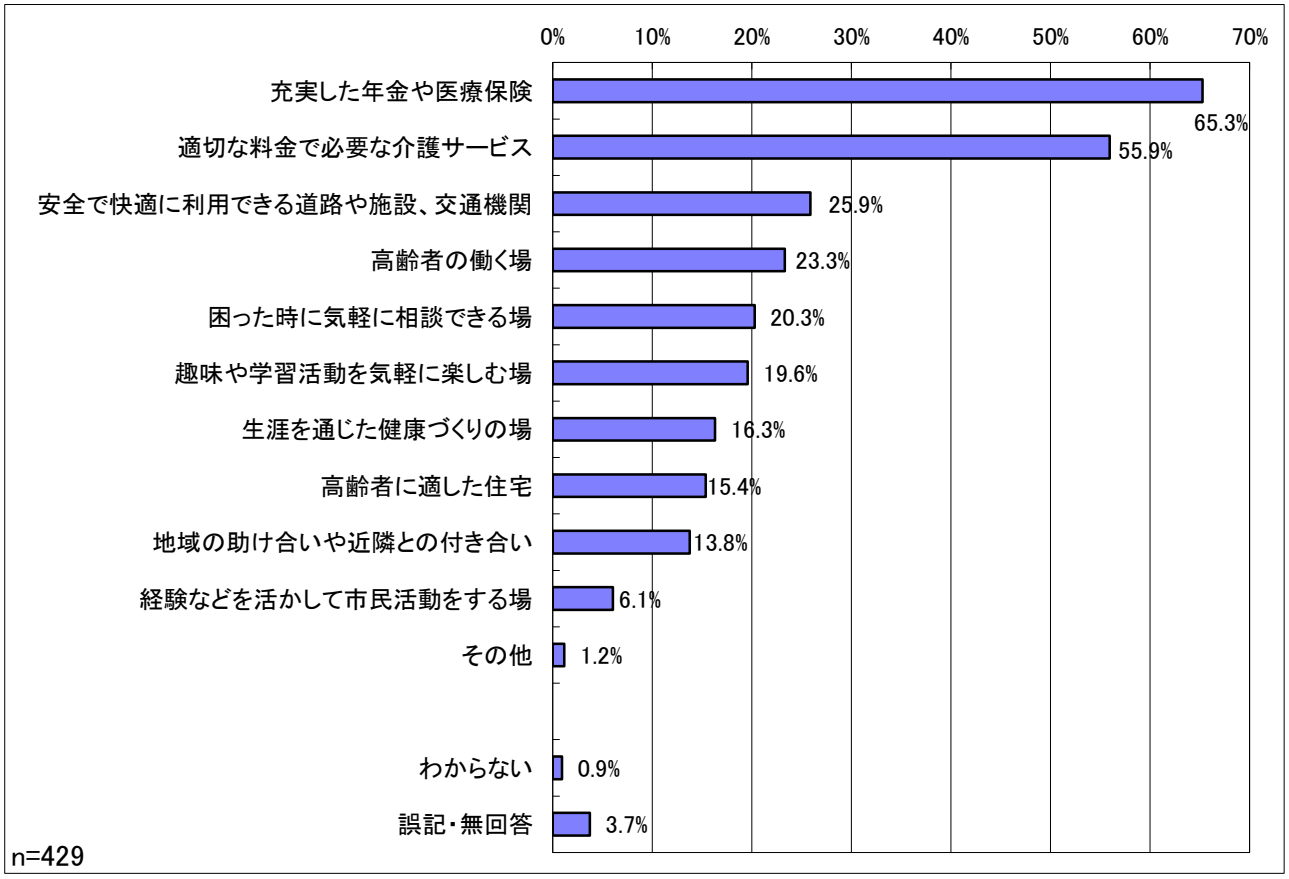
平成27年度からの推移を見ると、上位項目の構成に変化はなく、「体力の増進や健康の保持」、「趣味」、「友人・仲間づくり」が上位となっています。

●高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うこと 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	体力の増進や健康の保持 68.1%	趣味 48.0%	友人・仲間づくり 45.4%	家族関係の充実 35.9%	生きがいとしての仕事 22.6%
平成28年度	体力の増進や健康の保持 68.6%	趣味 57.6%	友人・仲間づくり 48.5%	家族関係の充実 37.3%	生きがいとしての仕事／隣人関係の充実 18.1%
平成29年度	体力の増進や健康の保持 70.1%	趣味 49.7%	友人・仲間づくり 44.3%	家族関係の充実 37.6%	生きがいとしての仕事 23.7%
平成30年度	体力の増進や健康の保持 74.5%	趣味 49.5%	友人・仲間づくり 41.8%	家族関係の充実 32.7%	生きがいとしての仕事 24.6%
今回	体力の増進や健康の保持 71.6%	趣味 52.2%	友人・仲間づくり 44.1%	家族関係の充実 33.1%	生きがいとしての仕事 25.4%

問12 高齢期を生き生きと過ごせるまちにするため、どのような環境が大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
充実した年金や医療保険	280	65.3%	1
適切な料金で必要な介護サービス	240	55.9%	2
安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	111	25.9%	3
高齢者の働く場	100	23.3%	4
困った時に気軽に相談できる場	87	20.3%	5
趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	84	19.6%	6
生涯を通じた健康づくりの場	70	16.3%	7
高齢者に適した住宅	66	15.4%	8
地域の助け合いや近隣との付き合い	59	13.8%	9
経験などを活かして市民活動をする場	26	6.1%	10
その他	5	1.2%	－
わからない	4	0.9%	
誤記・無回答	16	3.7%	



高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境についてたずねたところ、「充実した年金や医療保険」が65.3％と最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」の55.9％と、高齢期の生活基盤・医療・福祉が充実した環境を必要とする回答が多くなっています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、3位以下の項目は毎年入れ替わっていますが、上位の項目の構成に大きな変化はありません。

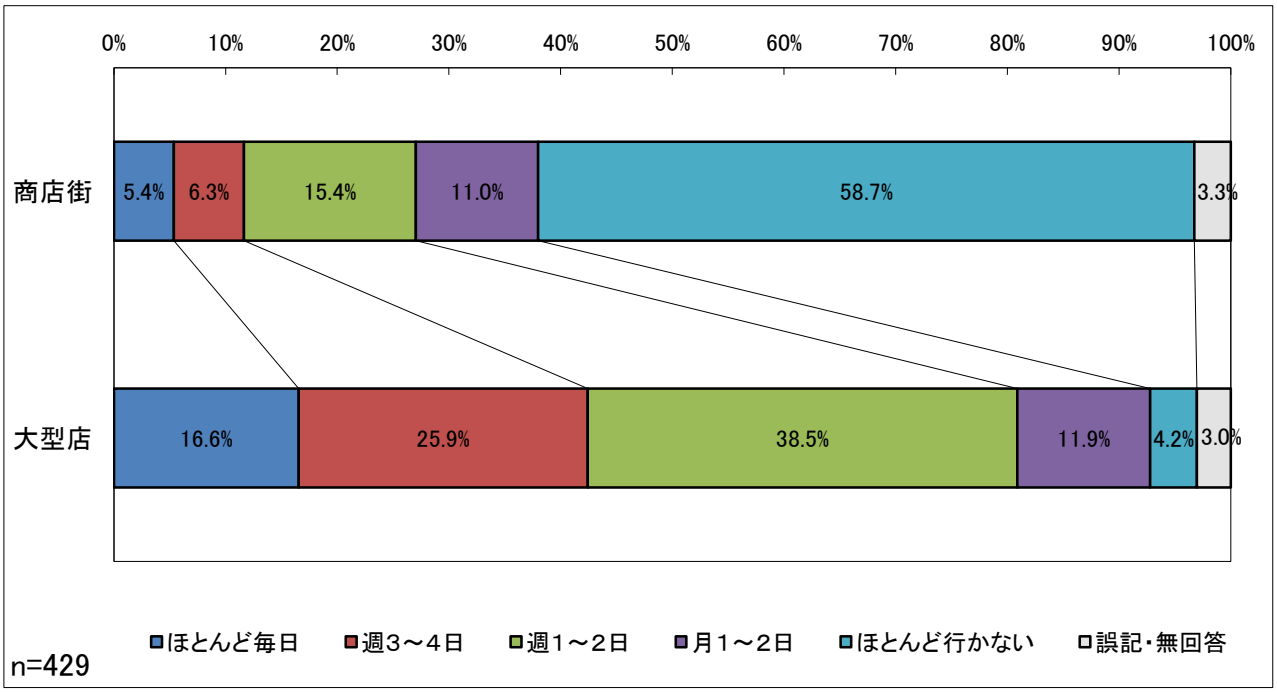
●高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	充実した年金や医療保険 66.6%	適切な料金で必要な介護サービス 51.9%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 22.0%	困った時に気軽に相談できる場 20.5%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 19.5%
平成28年度	充実した年金や医療保険 68.1%	適切な料金で必要な介護サービス 54.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.6%	生涯を通じた健康づくりの場 19.8%	高齢者の働く場 19.4%
平成29年度	充実した年金や医療保険 65.9%	適切な料金で必要な介護サービス 53.8%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 24.1%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.0%	高齢者の働く場 21.1%
平成30年度	充実した年金や医療保険 64.2%	適切な料金で必要な介護サービス 49.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 24.8%	困った時に気軽に相談できる場 23.2%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 22.2%
今回	充実した年金や医療保険 65.3%	適切な料金で必要な介護サービス 55.9%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 25.9%	高齢者の働く場 23.3%	困った時に気軽に相談できる場 20.3%

＜まちのにぎわいについて＞

問13 買い物についてお伺いします。あなたが商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度について、あてはまるものをお選びください。（○印はそれぞれ1つ）

	商店街			大型店		
回答対象者：429人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
ほとんど毎日	23	5.4%	5	71	16.6%	3
週3～4日	27	6.3%	4	111	25.9%	2
週1～2日	66	15.4%	2	165	38.5%	1
月1～2日	47	11.0%	3	51	11.9%	4
ほとんど行かない	252	58.7%	1	18	4.2%	5
誤記・無回答	14	3.3%		13	3.0%	



商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ買い物に行く頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」「週3～4日」「週1～2日」の割合の合計は、商店街の27.0％に対し、大型店は80.9％で3倍近い数値になっています。

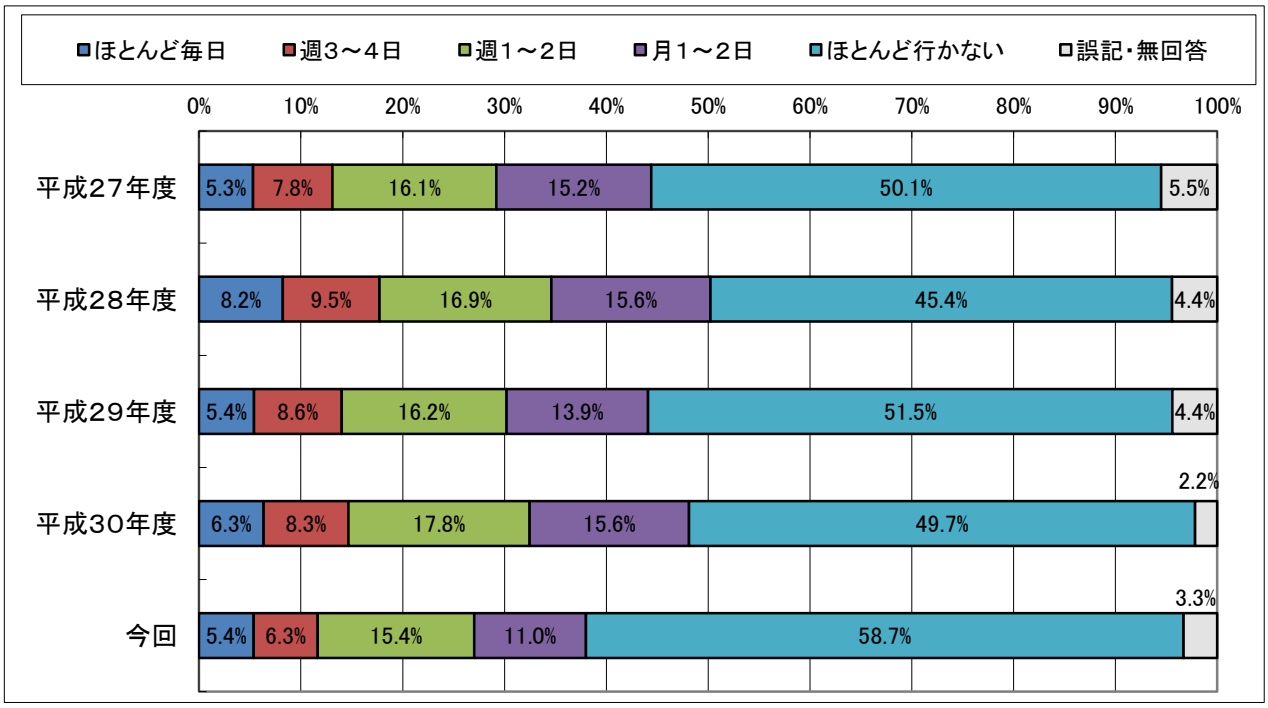
また、「ほとんど行かない」が商店街の58.7％に対し、大型店は4.2％となっています。

＜経年変化＞

【商店街】

平成27年度からの推移を見ると、商店街に買い物に行く頻度は、週1回以上の方が概ね30％前後で推移していますが、前年度から5.3ポイント低下しています。

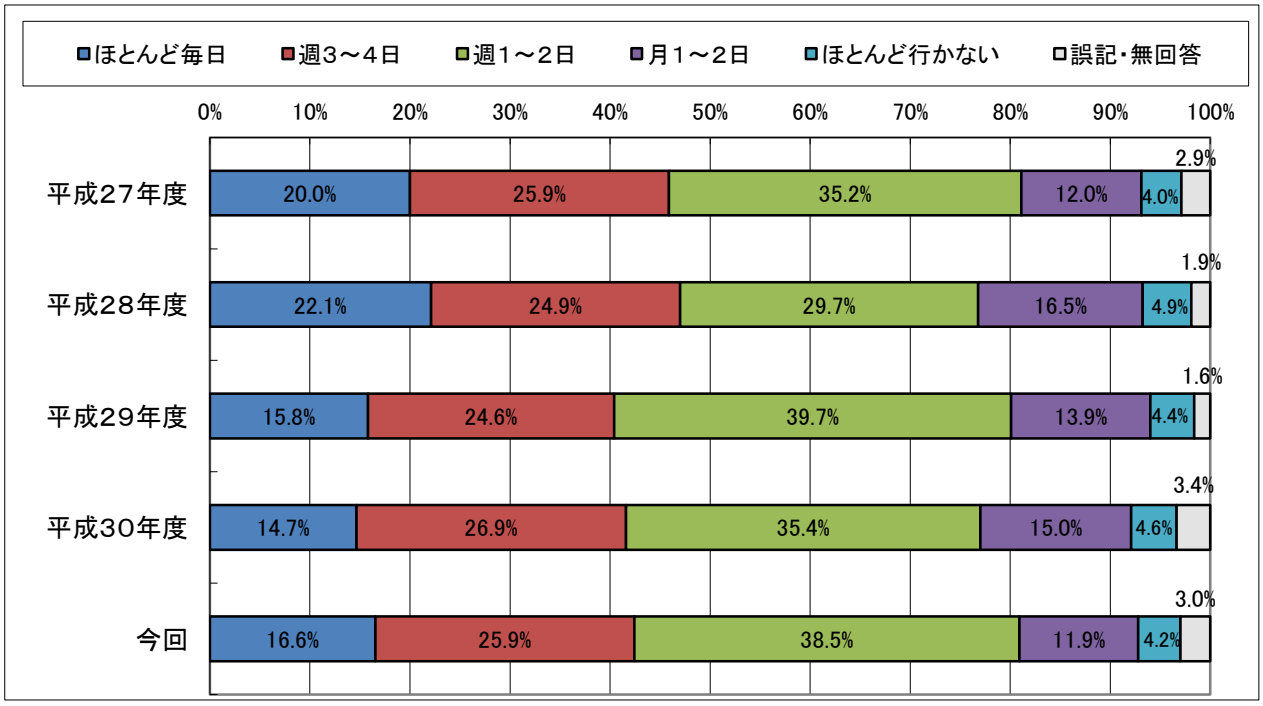
●商店街に買い物に行く頻度（平成27年度からの推移）



【大型店】

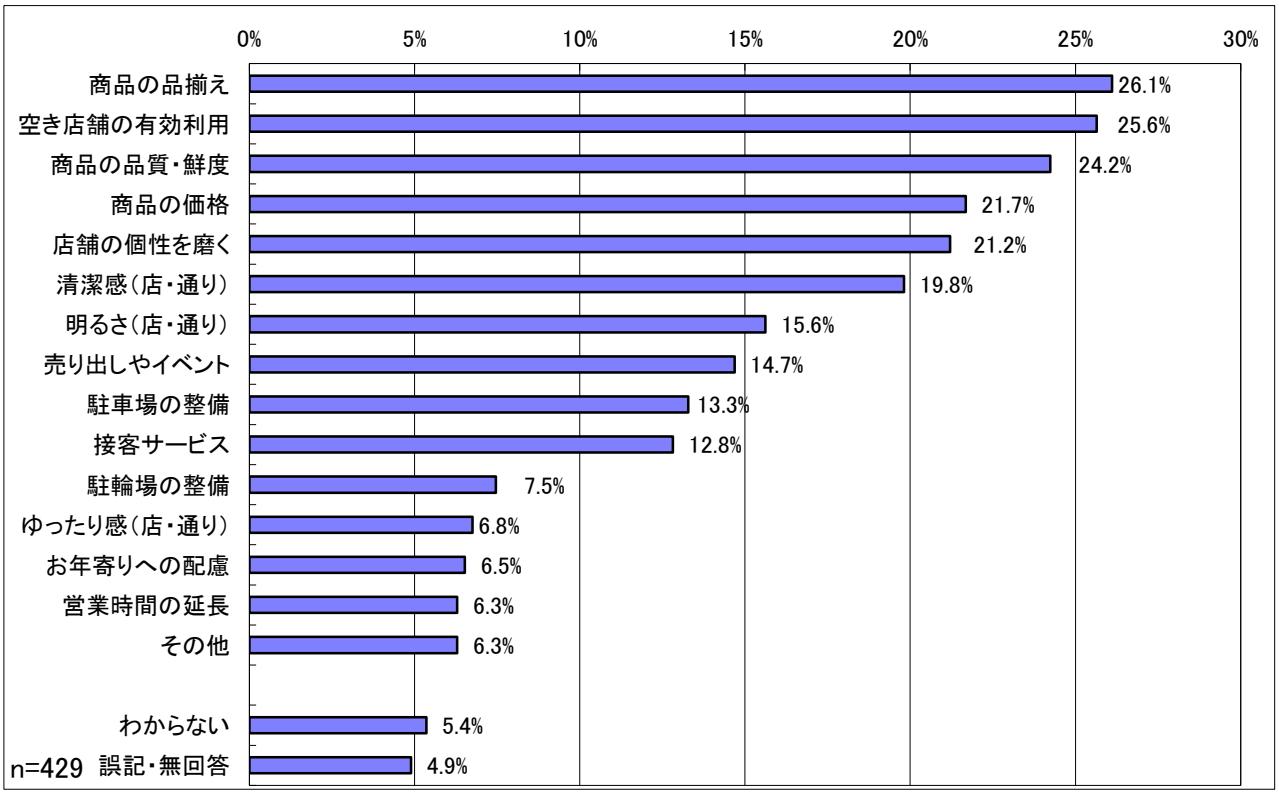
平成27年度からの推移を見ると、大型店に買い物に行く頻度が週1日以上の方がおおむね8割前後で推移しています。

●大型店に買い物に行く頻度（平成27年度からの推移）



問14 商店街の活性化についてお伺いします。あなたが商店街に望むことについて、あてはまるものをお選びください。（○印は3つ以内）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
商品の品揃え	112	26.1%	1
空き店舗の有効利用	110	25.6%	2
商品の品質・鮮度	104	24.2%	3
商品の価格	93	21.7%	4
店舗の個性を磨く	91	21.2%	5
清潔感（店・通り）	85	19.8%	6
明るさ（店・通り）	67	15.6%	7
売り出しやイベント	63	14.7%	8
駐車場の整備	57	13.3%	9
接客サービス	55	12.8%	10
駐輪場の整備	32	7.5%	11
ゆったり感（店・通り）	29	6.8%	12
お年寄りへの配慮	28	6.5%	13
営業時間の延長	27	6.3%	14
その他	27	6.3%	―
わからない	23	5.4%	
誤記・無回答	21	4.9%	



商店街に望むことについてたずねたところ、「商品の品揃え」が26.1%と最も多く、次いで「空き店舗の有効利用」が25.6%、「商品の品質・鮮度」が24.2%となっています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、上位項目の構成に大きな変化は見られませんが、近年では、「空き店舗の有効利用」、「商品の品揃え」が上位となっています。

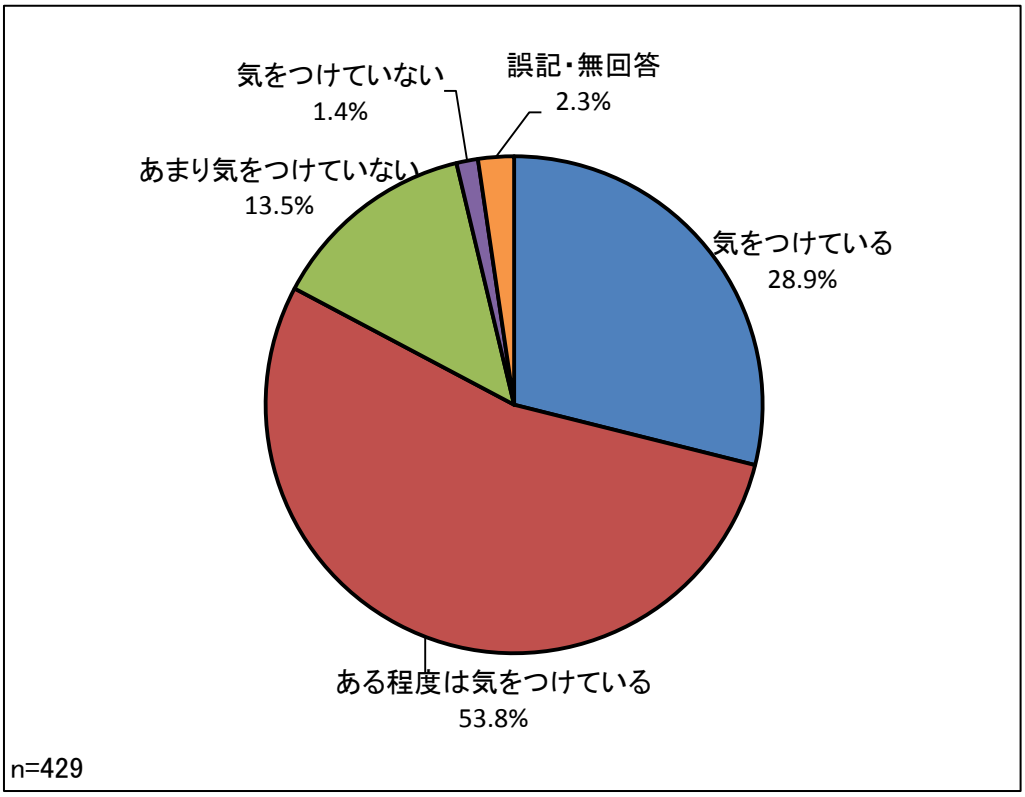
●商店街に望むこと 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	商品の品揃え 31.5%	商品の価格 25.3%	商品の品質・鮮度 25.1%	空き店舗の有効利用 23.6%	店舗の個性を磨く 22.4%
平成28年度	空き店舗の有効利用 30.4%	商品の品揃え 28.1%	商品の品質・鮮度 27.6%	店舗の個性を磨く 26.6%	商品の価格 21.9%
平成29年度	空き店舗の有効利用 28.1%	商品の品揃え 26.7%	商品の品質・鮮度 25.5%	商品の価格 22.5%	店舗の個性を磨く 20.2%
平成30年度	空き店舗の有効利用 28.9%	商品の品揃え 26.7%	店舗の個性を磨く 商品の品質・鮮度 25.5%		商品の価格 23.6%
今回	商品の品揃え 26.1%	空き店舗の有効利用 25.6%	商品の品質・鮮度 24.2%	商品の価格 21.7%	店舗の個性を磨く 21.2%

＜健康づくり、運動・スポーツについて＞

問15　あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。（○印は1つ）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
気をつけている	124	28.9%	2
ある程度は気をつけている	231	53.8%	1
あまり気をつけていない	58	13.5%	3
気をつけていない	6	1.4%	4
誤記・無回答	10	2.3%	

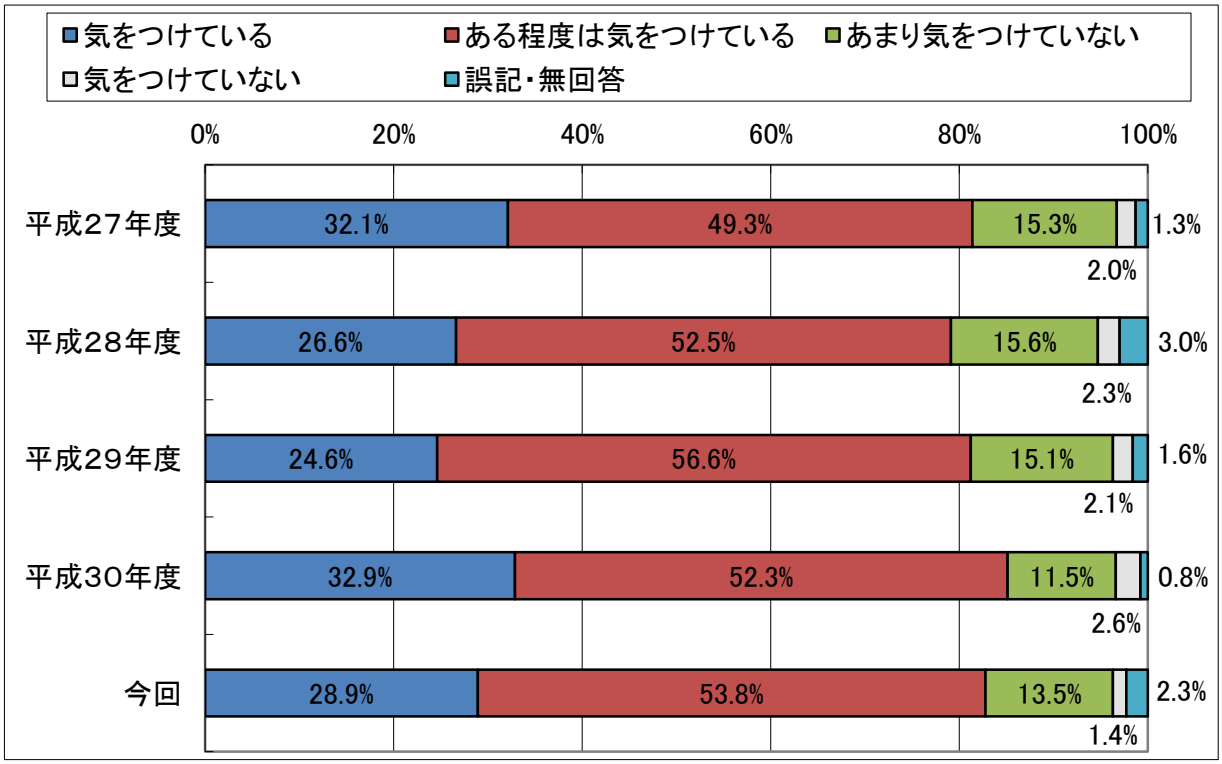


自分の健康にどのくらい気をつけているかたずねたところ、「気をつけている」、「ある程度は気をつけている」を合わせると、82.7％の人が日頃から自分の健康に気をつけているという結果になっています。

＜経年変化＞

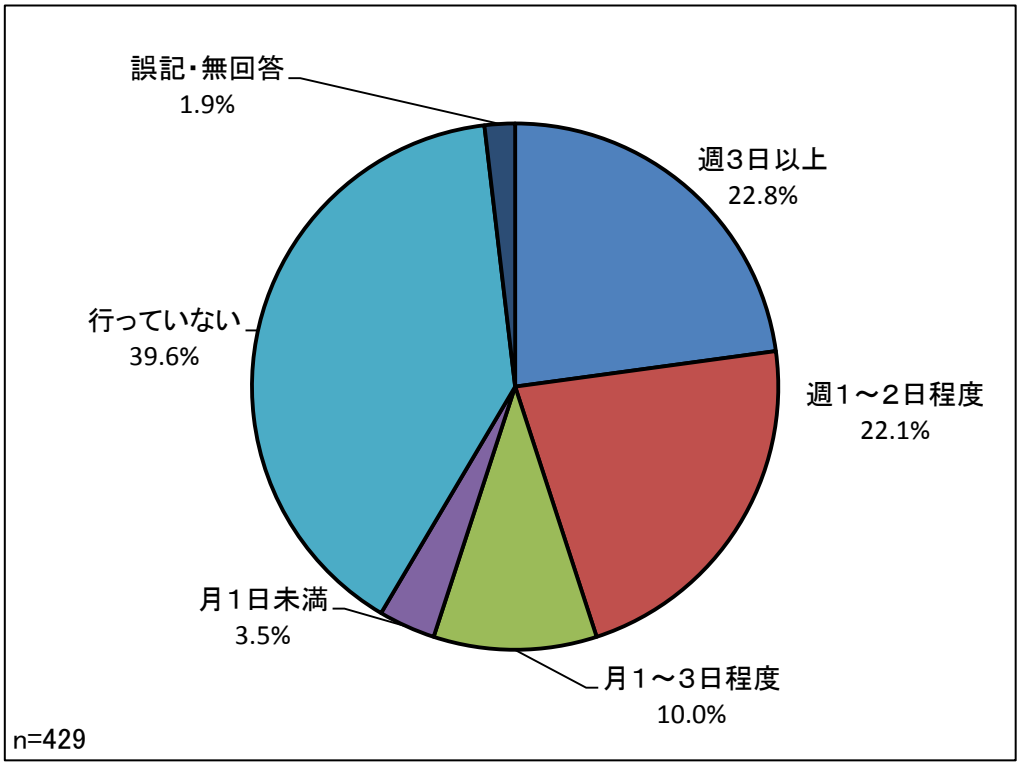
平成27年度からの推移を見ると、日頃、自分の健康に気をつけている人の割合は、おおむね80％程度で横ばい傾向となっています。

●健康に対する意識（平成27年度からの推移）



問16	健康づくりなどに運動・スポーツは非常に大切であるといわれています。 あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。（○印は1つ）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
週3日以上	98	22.8%	2
週1～2日程度	95	22.1%	3
月1～3日程度	43	10.0%	4
月1日未満	15	3.5%	5
行っていない	170	39.6%	1
誤記・無回答	8	1.9%	

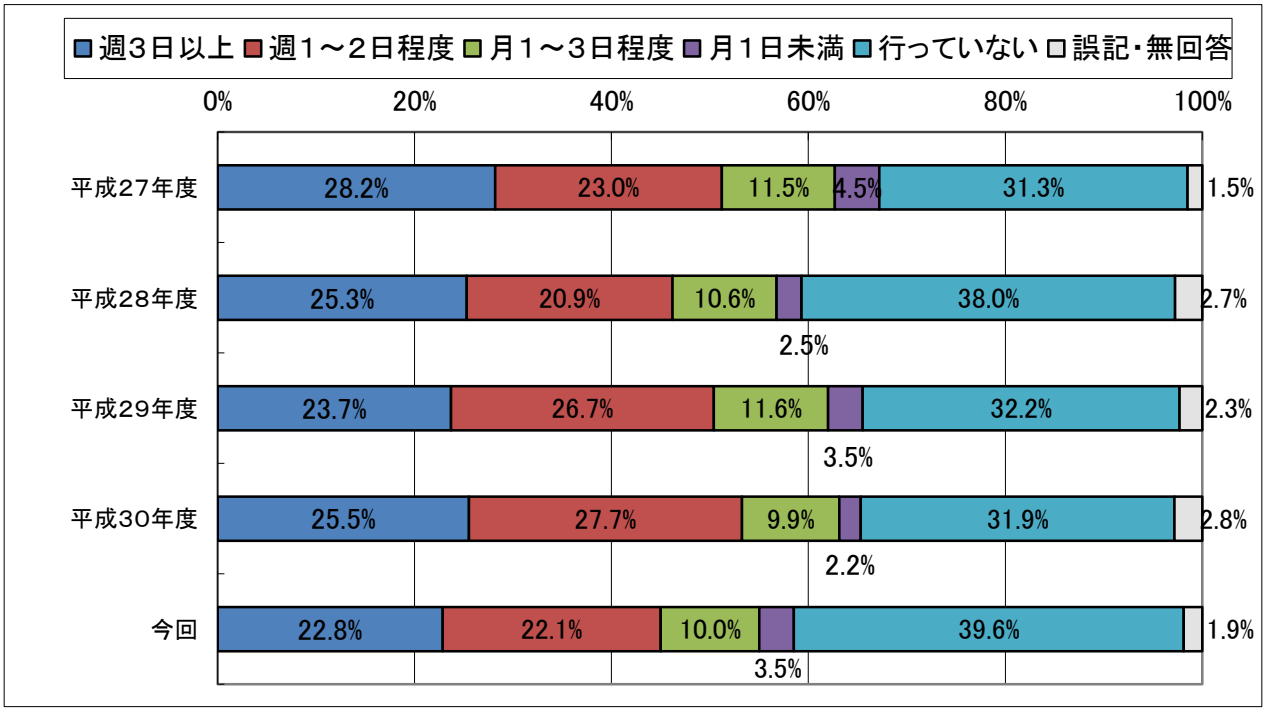


どのくらいの頻度で運動・スポーツをしているかたずねたところ、運動・スポーツを行っている人の中では、「週3日以上」が22.8%で最も多く、次いで「週1～2日程度」が22.1%、「月1～3日程度」が10.0%と続いており、およそ45%の人が、週1日以上何らかの運動・スポーツをしているという結果になっています。

＜経年変化＞

運動・スポーツをしている頻度について平成27年度からの経年変化を見ると、週1日以上スポーツをしている人の割合は50％前後で推移しています。

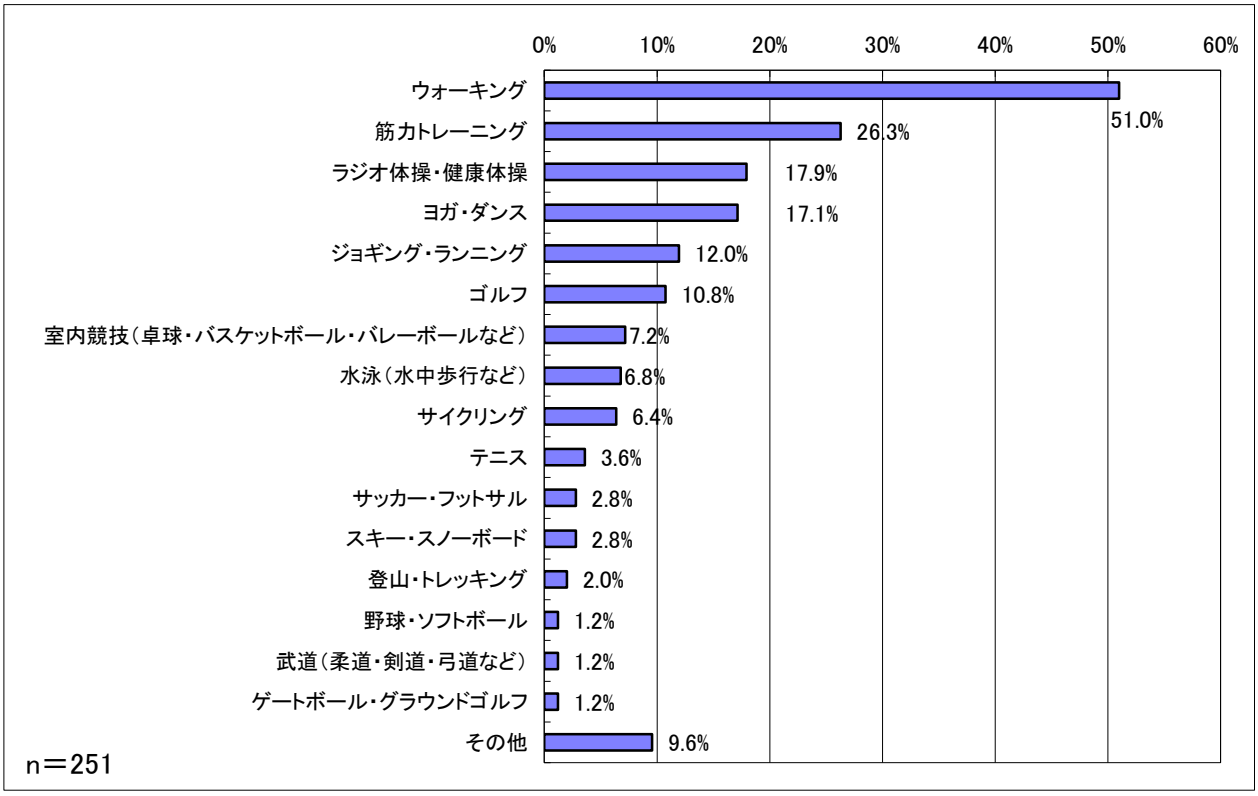
●運動・スポーツをしている頻度（平成27年度からの推移）



問16で「週3日以上」「週1～2日程度」「月1～3日程度」「月1日未満」と答えた人のみ回答

問17　あなたは、主にどのような運動・スポ―ツをしていますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：251人	件数	割合	順位
ウォーキング	128	51.0%	1
筋力トレーニング	66	26.3%	2
ラジオ体操・健康体操	45	17.9%	3
ヨガ・ダンス	43	17.1%	4
ジョギング・ランニング	30	12.0%	5
ゴルフ	27	10.8%	6
室内競技（卓球・バスケットボール・バレーボールなど）	18	7.2%	7
水泳（水中歩行など）	17	6.8%	8
サイクリング	16	6.4%	9
テニス	9	3.6%	10
サッカー・フットサル	7	2.8%	11
スキー・スノーボード	7	2.8%	11
登山・トレッキング	5	2.0%	13
野球・ソフトボール	3	1.2%	14
武道（柔道・剣道・弓道など）	3	1.2%	14
ゲートボール・グラウンドゴルフ	3	1.2%	14
その他	24	9.6%	―



最も行われている運動・スポーツは「ウォーキング」で51.0%、次いで「筋力トレーニング」が26.3%、「ラジオ体操・健康体操」が17.9%となっています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「ウォーキング」が50％強の割合で推移しています。

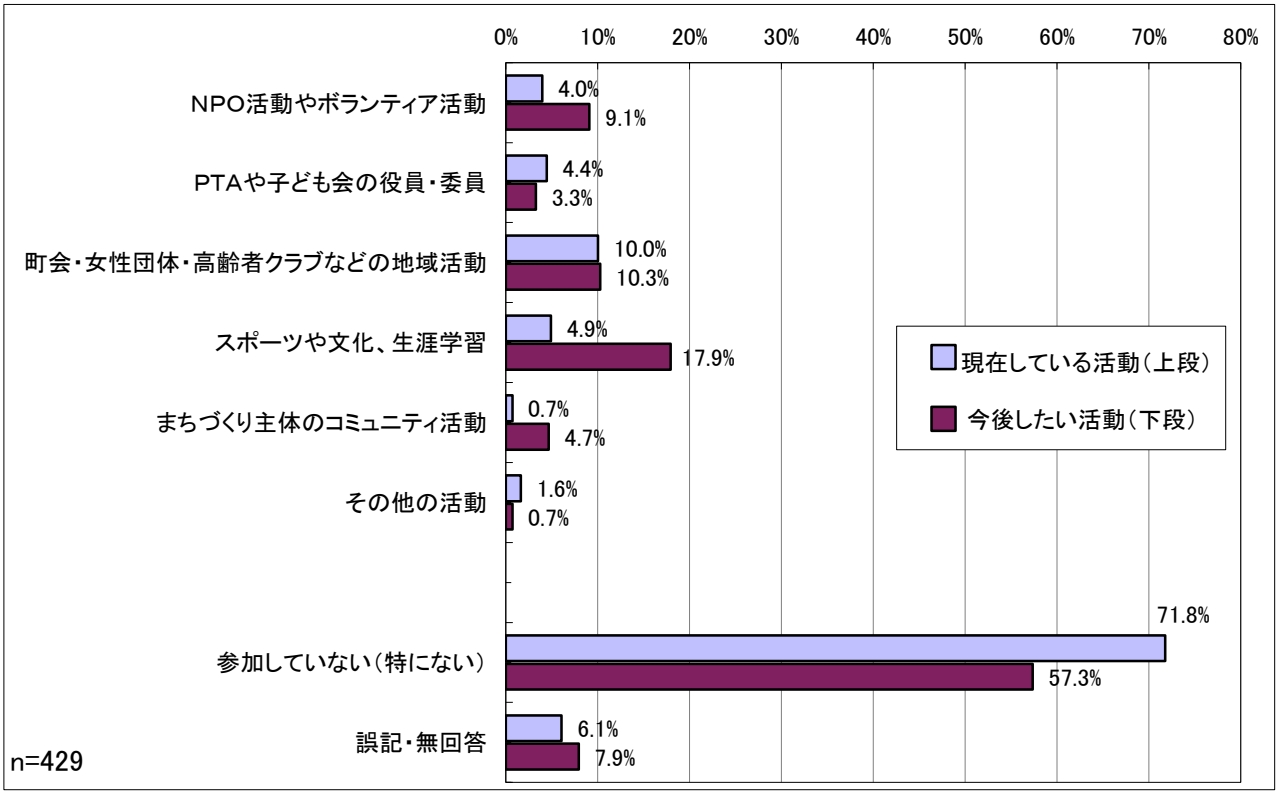
●どのような運動・スポーツをしているか 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	ウォーキング 53.4%	ラジオ体操・健康体操 25.4%	筋力トレーニング 18.6%	ジョギング・ランニング 14.7%	ヨガ・ダンス 10.0%
平成28年度	ウォーキング 55.2%	ラジオ体操・健康体操 21.0%	筋力トレーニング 17.8%	ジョギング・ランニング 12.8%	ヨガ・ダンス 11.0%
平成29年度	ウォーキング 55.7%	筋力トレーニング 20.6%	ラジオ体操・健康体操 17.0%	ジョギング・ランニング 16.3%	ヨガ・ダンス 10.3%
平成30年度	ウォーキング 56.7%	ラジオ体操・健康体操 24.5%	筋力トレーニング 23.9%	ジョギング・ランニング 12.7%	ヨガ・ダンス 11.5%
今回	ウォーキング 51.0%	筋力トレーニング 26.3%	ラジオ体操・健康体操 17.9%	ヨガ・ダンス 17.1%	ジョギング・ランニング 12.0%

＜市民活動について＞

問18	あなたは現在、お住まいの地域等で何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。 （○印はそれぞれいくつでも）

	現在している活動			今後したい活動		
回答対象者：429人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
NPO活動やボランティア活動	17	4.0%	4	39	9.1%	3
PTAや子ども会の役員・委員	19	4.4%	3	14	3.3%	5
町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	43	10.0%	1	44	10.3%	2
スポーツや文化、生涯学習	21	4.9%	2	77	17.9%	1
まちづくり主体のコミュニティ活動	3	0.7%	5	20	4.7%	4
その他の活動	7	1.6%	―	3	0.7%	―
参加していない（特にない）	308	71.8%		246	57.3%	
誤記・無回答	26	6.1%		34	7.9%	



現在している市民活動と今後したい市民活動についてたずねたところ、活動に参加している人の中では、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が10.0%で最も多く、次いで「スポーツや文化、生涯学習」の4.9%となっています。

一方、今後したい活動としては、「スポーツや文化、生涯学習」の17.9%が最も多く、次いで、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」の10.3%となっています。

＜経年変化＞

【現在の状況】

現在している市民活動について、平成27年度からの推移を見ると、1位には「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」、2位には「スポーツや文化、生涯学習」が続いています。

●現在している市民活動 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位	参加していない
平成27年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.6%	スポーツや文化、生涯学習 8.9%	NPO活動やボランティア活動 6.5%	PTAや子ども会の役員・委員 4.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.6%	65.8%
平成28年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.2%	スポーツや文化、生涯学習 11.0%	NPO活動やボランティア活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 3.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.7%	63.9%
平成29年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 13.7%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	PTAや子ども会の役員・委員 4.2%	NPO活動やボランティア活動 3.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 1.6%	65.0%
平成30年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 11.9%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	PTAや子ども会の役員・委員 6.1%	NPO活動やボランティア活動 5.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 3.6%	66.1%
今回	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.0%	スポーツや文化、生涯学習 4.9%	PTAや子ども会の役員・委員 4.4%	NPO活動やボランティア活動 4.0%	まちづくり主体のコミュニティ活動 0.7%	71.8%

※「その他」・「無回答」は除く

【今後の意向】

今後したいと思う市民活動について、平成27年度からの推移を見ると、1位には「スポーツや文化、生涯学習」が続いています。

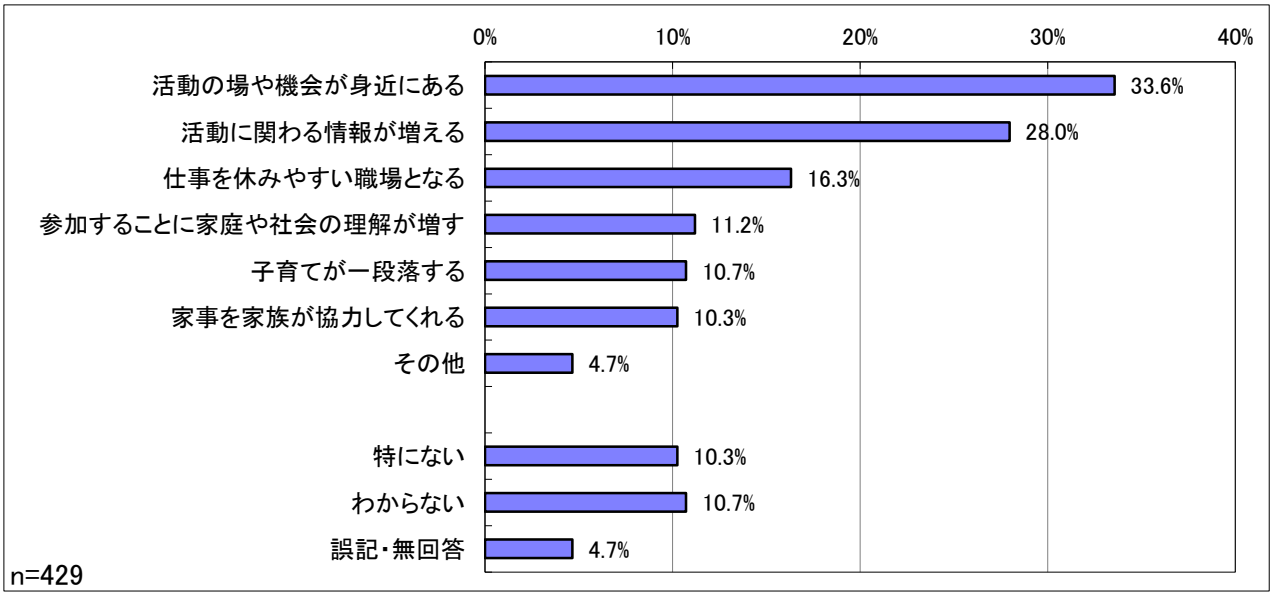
●今後したいと思う市民活動 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成27年度	スポーツや文化、生涯学習 20.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 7.4%	NPO活動やボランティア活動 6.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.9%	PTAや子ども会の役員・委員 1.8%	53.4%
平成28年度	スポーツや文化、生涯学習 22.2%	NPO活動やボランティア活動 10.8%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 7.4%	PTAや子ども会の役員・委員 1.7%	53.0%
平成29年度	スポーツや文化、生涯学習 21.1%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.8%	NPO活動やボランティア活動 8.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	53.4%
今回	スポーツや文化、生涯学習 21.2%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.9%	NPO活動やボランティア活動 9.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 7.1%	PTAや子ども会の役員・委員 2.2%	52.5%
今回	スポーツや文化、生涯学習 17.9%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.3%	NPO活動やボランティア活動 9.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 4.7%	PTAや子ども会の役員・委員 3.3%	57.3%

※「その他」・「無回答」は除く

問19 上記の活動に参加しやすくするためには、どのような環境が必要だと思いますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
活動の場や機会が身近にある	144	33.6%	1
活動に関わる情報が増える	120	28.0%	2
仕事を休みやすい職場となる	70	16.3%	3
参加することに家庭や社会の理解が増す	48	11.2%	4
子育てが一段落する	46	10.7%	5
家事を家族が協力してくれる	44	10.3%	6
その他	20	4.7%	―
特にない	44	10.3%	
わからない	46	10.7%	
誤記・無回答	20	4.7%	



市民活動に参加しやすい環境についてたずねたところ、最も多かったのが「活動の場や機会が身近にある」の33.6%、次いで「活動に関わる情報が増える」の28.0%、「仕事を休みやすい職場となる」の16.3%となっています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、1位の「活動の場や機会が身近にある」が30％を超えています。

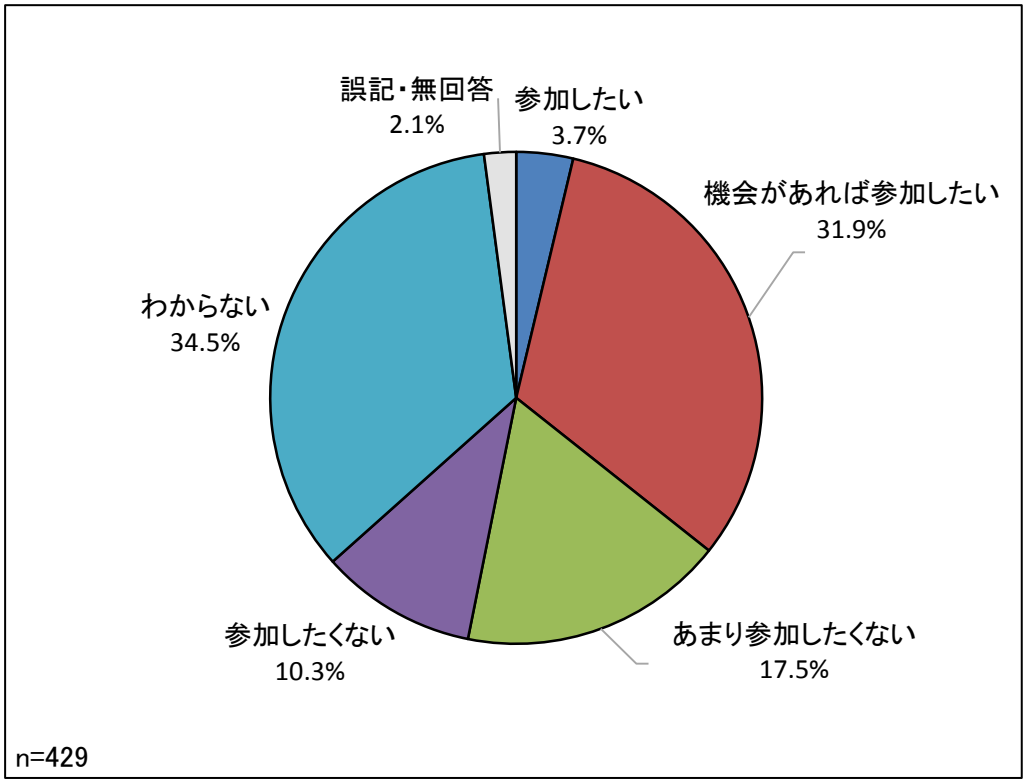
●市民活動に参加しやすくなる環境 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	活動の場や機会が身近にある 32.6%	活動に関わる情報が増える 23.8%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.1%	仕事を休みやすい職場となる 子育てが一段落する 12.2%	
平成28年度	活動の場や機会が身近にある 32.1%	活動に関わる情報が増える 23.8%	仕事を休みやすい職場となる 15.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.7%	子育てが一段落する 10.5%
平成29年度	活動の場や機会が身近にある 35.7%	活動に関わる情報が増える 28.8%	仕事を休みやすい職場となる 13.7%	参加することに家庭や社会の理解が増す 11.4%	子育てが一段落する 9.7%
平成30年度	活動の場や機会が身近にある 35.8%	活動に関わる情報が増える 25.5%	仕事を休みやすい職場となる 16.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.0%	子育てが一段落する 11.7%
今回	活動の場や機会が身近にある 33.6%	活動に関わる情報が増える 28.0%	仕事を休みやすい職場となる 16.3%	参加することに家庭や社会の理解が増す 11.2%	子育てが一段落する 10.7%

＜市民参加について＞

問20　あなたは、市政の計画づくりやまちづくりに参加したいと思いますか。（○印は1つ）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
参加したい	16	3.7%	5
機会があれば参加したい	137	31.9%	2
あまり参加したくない	75	17.5%	3
参加したくない	44	10.3%	4
わからない	148	34.5%	1
誤記・無回答	9	2.1%	

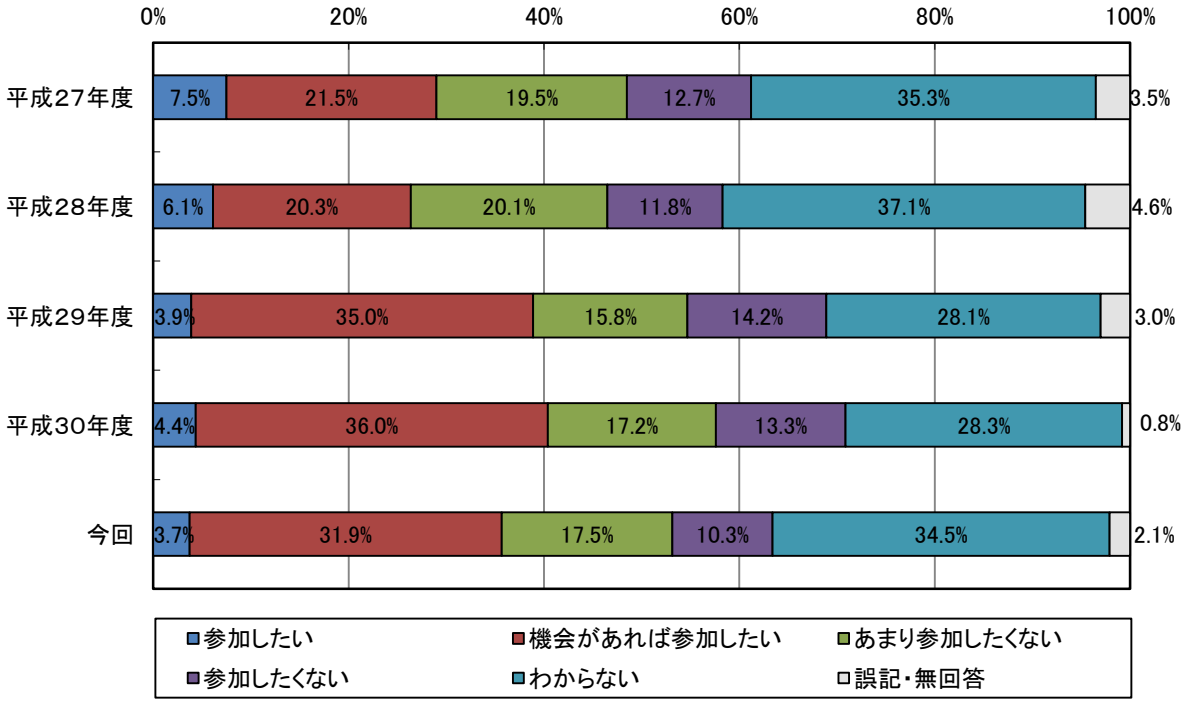


市政の計画づくりやまちづくりへの市民参加については、「参加したい」が3.7%、「機会があれば参加したい」が31.9%となっており、これらを合わせた35.6%の人が参加を望んでいることがわかります。このことから、市民参加の機会を拡充するなど行政の積極的な働きかけにより、市民参加が今以上に進む可能性がうかがえます。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、「参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向を持つ人の割合は、平成28年度までは30％未満でしたが、平成29年度以降は35％以上となっています。

●市政の計画づくりやまちづくりへの参加について（平成27年度からの推移）

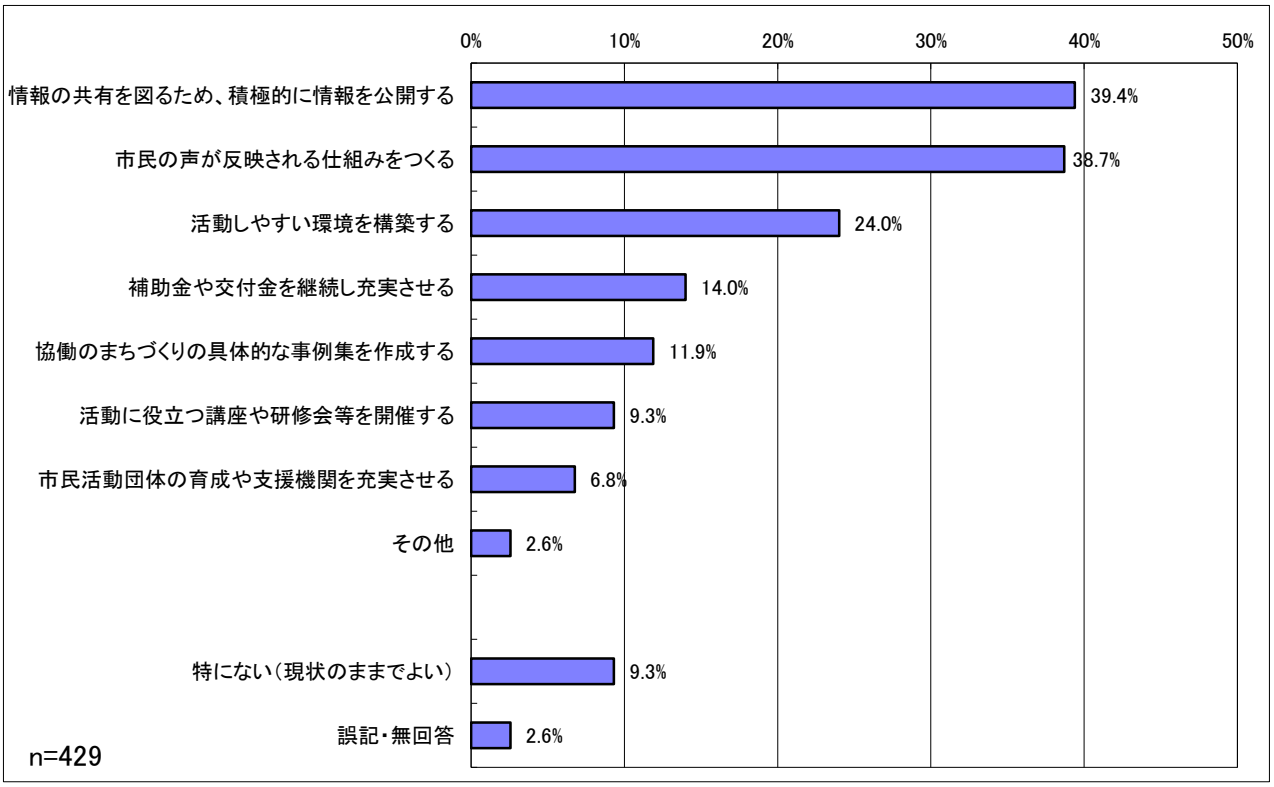


※平成29年度から一部選択肢の表現を見直し

＜協働のまちづくりについて＞

問21	市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきだと思いますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する	169	39.4%	1
市民の声が反映される仕組みをつくる	166	38.7%	2
活動しやすい環境を構築する	103	24.0%	3
補助金や交付金を継続し充実させる	60	14.0%	4
協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する	51	11.9%	5
活動に役立つ講座や研修会等を開催する	40	9.3%	6
市民活動団体の育成や支援機関を充実させる	29	6.8%	7
その他	11	2.6%	－
特にない（現状のままでよい）	40	9.3%	－
誤記・無回答	11	2.6%	



市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきかたずねたところ、「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」が39.4%、次いで「市民の声が反映される仕組みをつくる」が38.7%、「活動しやすい環境を構築する」が24.0%と続いています。

＜経年変化＞

平成27年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」、「市民の声が反映される仕組みをつくる」の割合が40％近くで推移しています。

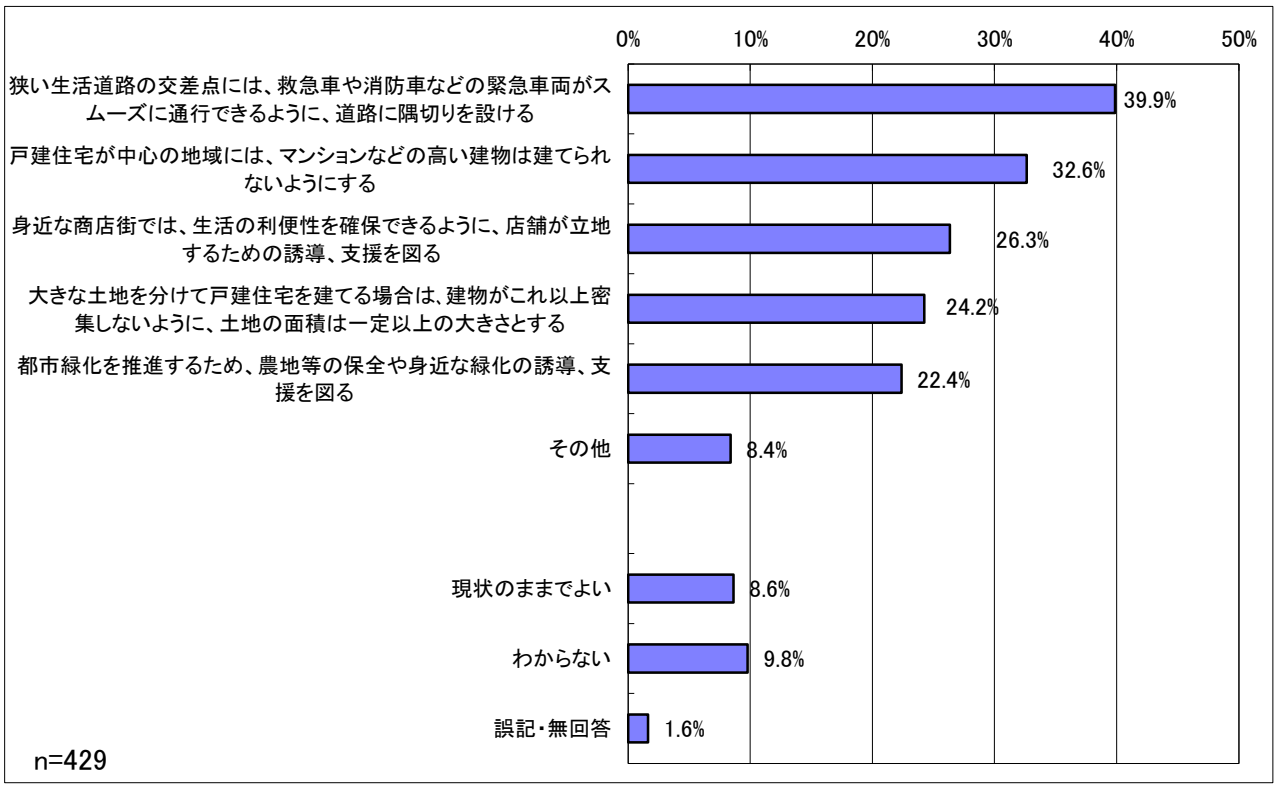
●協働のまちづくりに必要なこと 上位5位（平成27年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成27年度	市民の声が反映される仕組みをつくる 40.4%	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 36.0%	活動しやすい環境を構築する 20.8%	補助金や交付金を継続し充実させる 12.6%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 11.4%
平成28年度	市民の声が反映される仕組みをつくる 37.8%	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 36.3%	活動しやすい環境を構築する 19.6%	補助金や交付金を継続し充実させる 15.0%	活動に役立つ講座や研修会等を開催する 11.0%
平成29年度	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 39.2%	市民の声が反映される仕組みをつくる 36.2%	活動しやすい環境を構築する 24.6%	補助金や交付金を継続し充実させる 13.0%	活動に役立つ講座や研修会等を開催する 10.4%
平成30年度	市民の声が反映される仕組みをつくる 38.0%	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 37.2%	活動しやすい環境を構築する 20.4%	補助金や交付金を継続し充実させる 15.6%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 12.3%
今回	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 39.4%	市民の声が反映される仕組みをつくる 38.7%	活動しやすい環境を構築する 24.0%	補助金や交付金を継続し充実させる 14.0%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 11.9%

＜市街地における魅力ある空間づくりについて＞

問22 あなたがお住まいの地域にとって、住みやすさを向上させるためには、どのようなことが望ましいと思いますか。（○印はいくつでも）

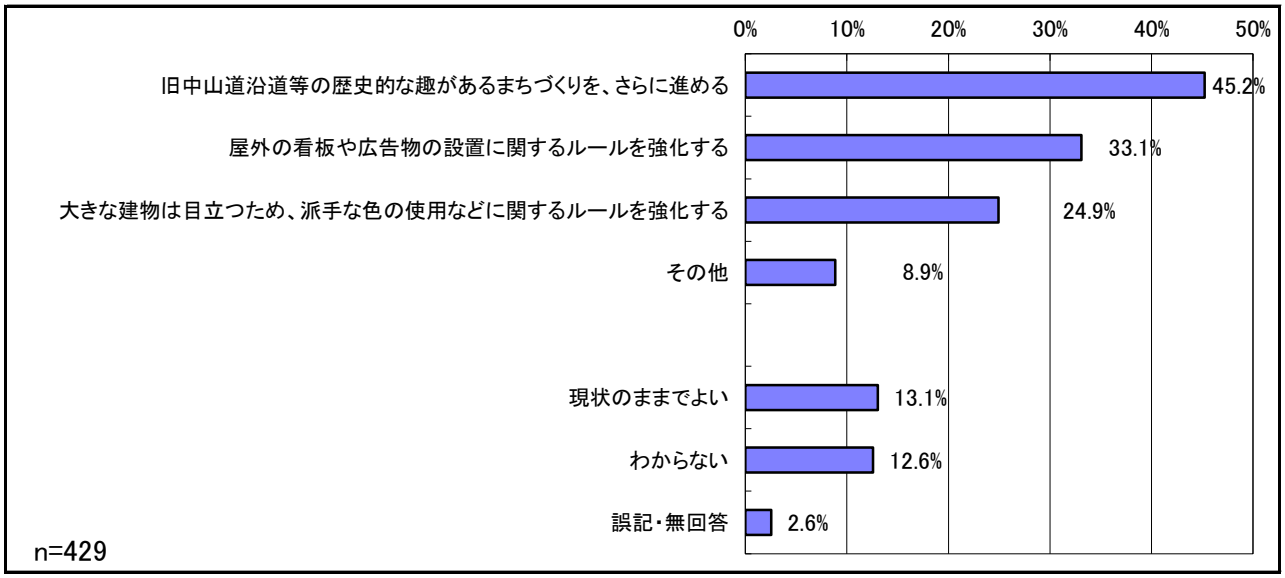
回答対象者：429人	件数	割合	順位
狭い生活道路の交差点には、救急車や消防車などの緊急車両がスムーズに通行できるように、道路に隅切りを設ける	171	39.9%	1
戸建住宅が中心の地域には、マンションなどの高い建物は建てられないようにする	140	32.6%	2
身近な商店街では、生活の利便性を確保できるように、店舗が立地するための誘導、支援を図る	113	26.3%	3
大きな土地を分けて戸建住宅を建てる場合は、建物がこれ以上密集しないように、土地の面積は一定以上の大きさとする	104	24.2%	4
都市緑化を推進するため、農地等の保全や身近な緑化の誘導、支援を図る	96	22.4%	5
その他	36	8.4%	－
現状のままでよい	37	8.6%	－
わからない	42	9.8%	－
誤記・無回答	7	1.6%	



お住まいの地域にとって、住みやすさを向上させるためには、どのようなことが望ましいかたずねたところ、「狭い生活道路の交差点には、救急車や消防車などの緊急車両がスムーズに通行できるように、道路に隅切りを設ける」が39.9%、次いで「戸建住宅が中心の地域には、マンションなどの高い建物は建てられないようにする」が32.6%、「身近な商店街では、生活の利便性を確保できるように、店舗が立地するための誘導、支援を図る」が26.3%と続いています。

問23 よりよい景観のまちづくりを今後も進めるためには、どのようなことが望ましいと思いますか。（○印はいくつでも）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
旧中山道沿道等の歴史的な趣があるまちづくりを、さらに進める	194	45.2%	1
屋外の看板や広告物の設置に関するルールを強化する	142	33.1%	2
大きな建物は目立つため、派手な色の使用などに関するルールを強化する	107	24.9%	3
その他	38	8.9%	－
現状のままでよい	56	13.1%	－
わからない	54	12.6%	－
誤記・無回答	11	2.6%	

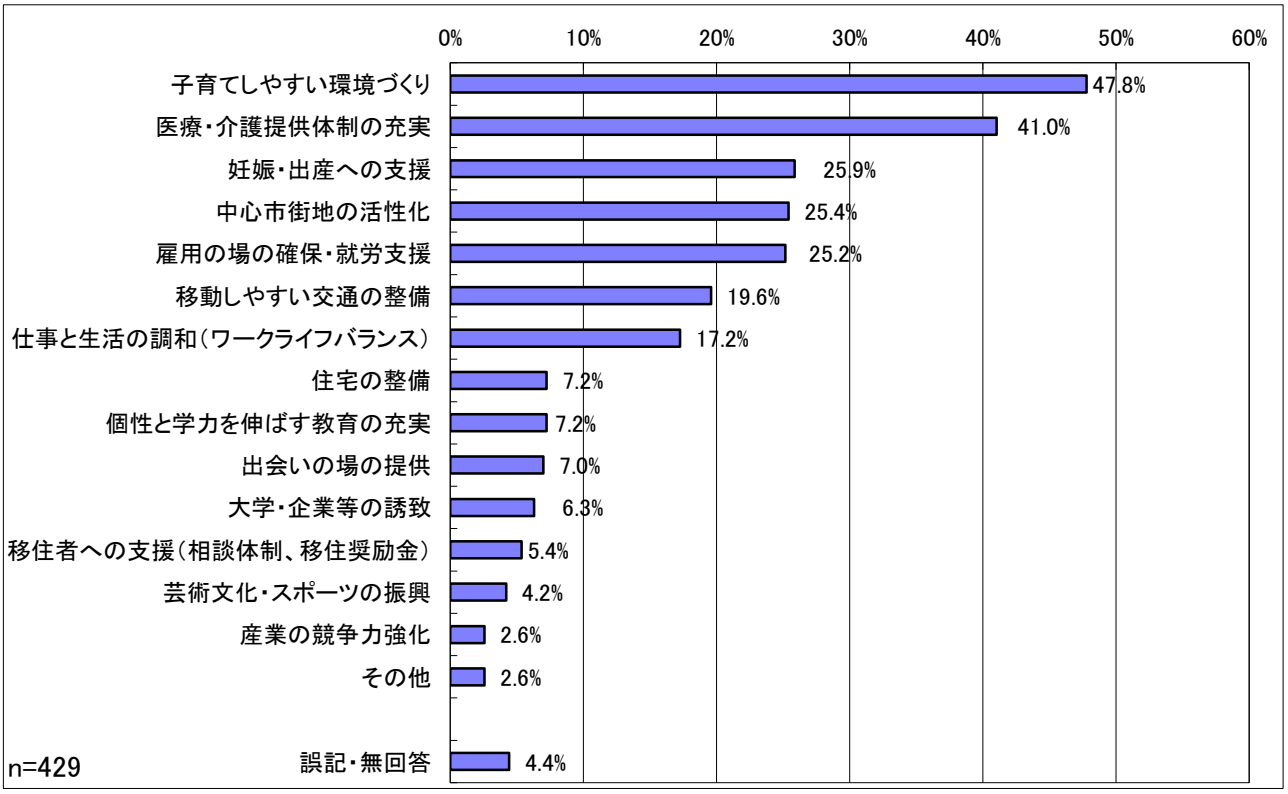


よりよい景観のまちづくりを今後も進めるためには、どのようなことが望ましいかたずねたところ、「旧中山道沿道等の歴史的な趣があるまちづくりを、さらに進める」が45.2%、次いで「屋外の看板や広告物の設置に関するルールを強化する」が33.1%、「大きな建物は目立つため、派手な色の使用などに関するルールを強化する」が24.9%と続いています。

＜人口問題への対応について＞

問24 日本全体で進む人口減少や高齢化といった人口問題に対応するため、行政はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
子育てしやすい環境づくり	205	47.8%	1
医療・介護提供体制の充実	176	41.0%	2
妊娠・出産への支援	111	25.9%	3
中心市街地の活性化	109	25.4%	4
雇用の場の確保・就労支援	108	25.2%	5
移動しやすい交通の整備	84	19.6%	6
仕事と生活の調和（ワークライフバランス）	74	17.2%	7
住宅の整備	31	7.2%	8
個性と学力を伸ばす教育の充実	31	7.2%	8
出会いの場の提供	30	7.0%	10
大学・企業等の誘致	27	6.3%	11
移住者への支援（相談体制、移住奨励金）	23	5.4%	12
芸術文化・スポーツの振興	18	4.2%	13
産業の競争力強化	11	2.6%	14
その他	11	2.6%	―
誤記・無回答	19	4.4%	

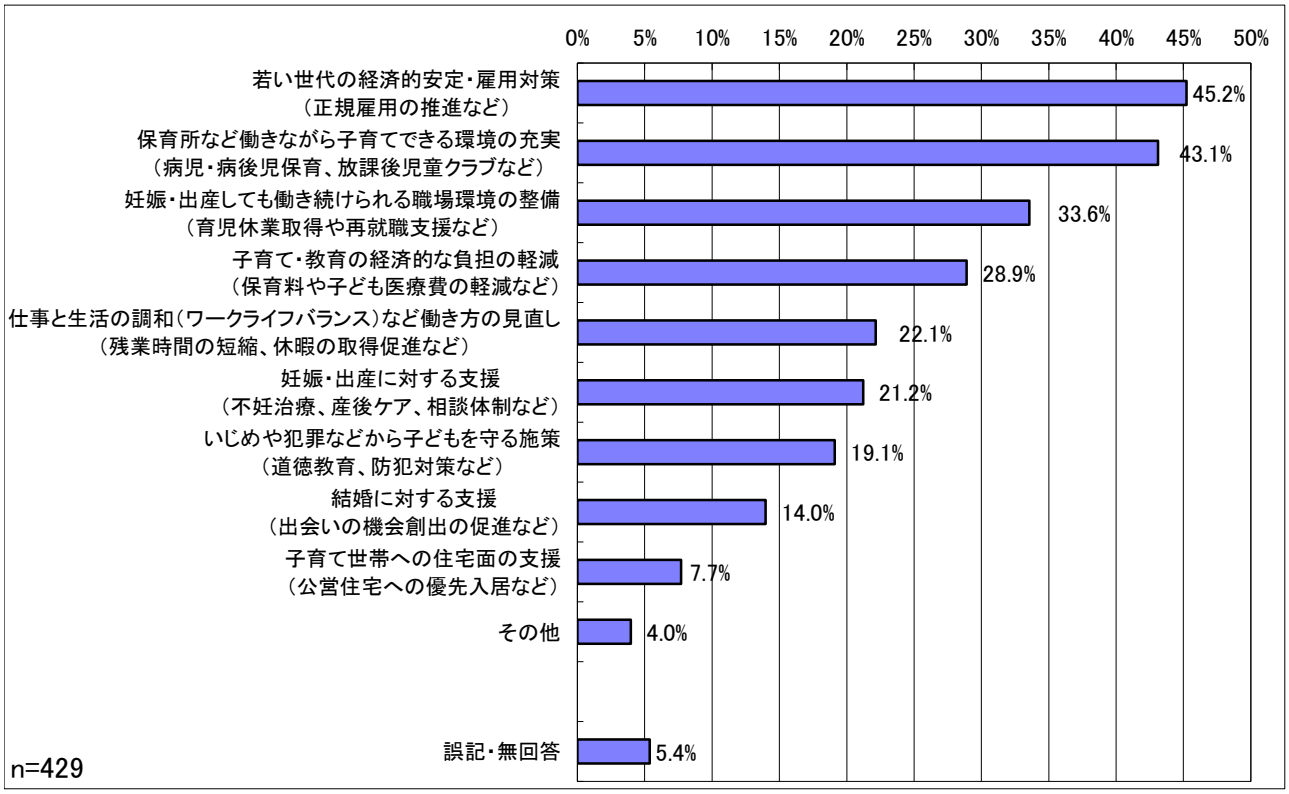


日本全体で進む人口減少や高齢化といった人口問題に対応するため、行政はどのようなことに取り組むべきかたずねたところ、「子育てしやすい環境づくり」が47.8%と最も多く、次いで「医療・介護提供体制の充実」が41.0%、「妊娠・出産への支援」が25.9%となっています。

＜少子化への対応について＞

問25 少子化に歯止めをかけるため、行政はどのようなことを充実すればよいと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：429人	件数	割合	順位
若い世代の経済的安定・雇用対策（正規雇用の推進など）	194	45.2%	1
保育所など働きながら子育てできる環境の充実（病児・病後児保育、放課後児童クラブなど）	185	43.1%	2
妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備（育児休業取得や再就職支援など）	144	33.6%	3
子育て・教育の経済的な負担の軽減（保育料や子ども医療費の軽減など）	124	28.9%	4
仕事と生活の調和（ワークライフバランス）など働き方の見直し（残業時間の短縮、休暇の取得促進など）	95	22.1%	5
妊娠・出産に対する支援（不妊治療、産後ケア、相談体制など）	91	21.2%	6
いじめや犯罪などから子どもを守る施策（道徳教育、防犯対策など）	82	19.1%	7
結婚に対する支援（出会いの機会創出の促進など）	60	14.0%	8
子育て世帯への住宅面の支援（公営住宅への優先入居など）	33	7.7%	9
その他	17	4.0%	―
誤記・無回答	23	5.4%	



少子化に歯止めをかけるため、行政はどのようなことを充実すればよいかたずねたところ、「若い世代の経済的安定・雇用対策（正規雇用の推進など）」が45.2%と最も多く、次いで「保育所など働きながら子育てできる環境の充実（病児・病後児保育、放課後児童クラブなど）」が43.1%、「妊娠・出産しても働き続けられる職場環境の整備（育児休業取得や再就職支援など）」が33.6%となっています。

● **重点施策（重要度）**　　※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問26	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。１～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

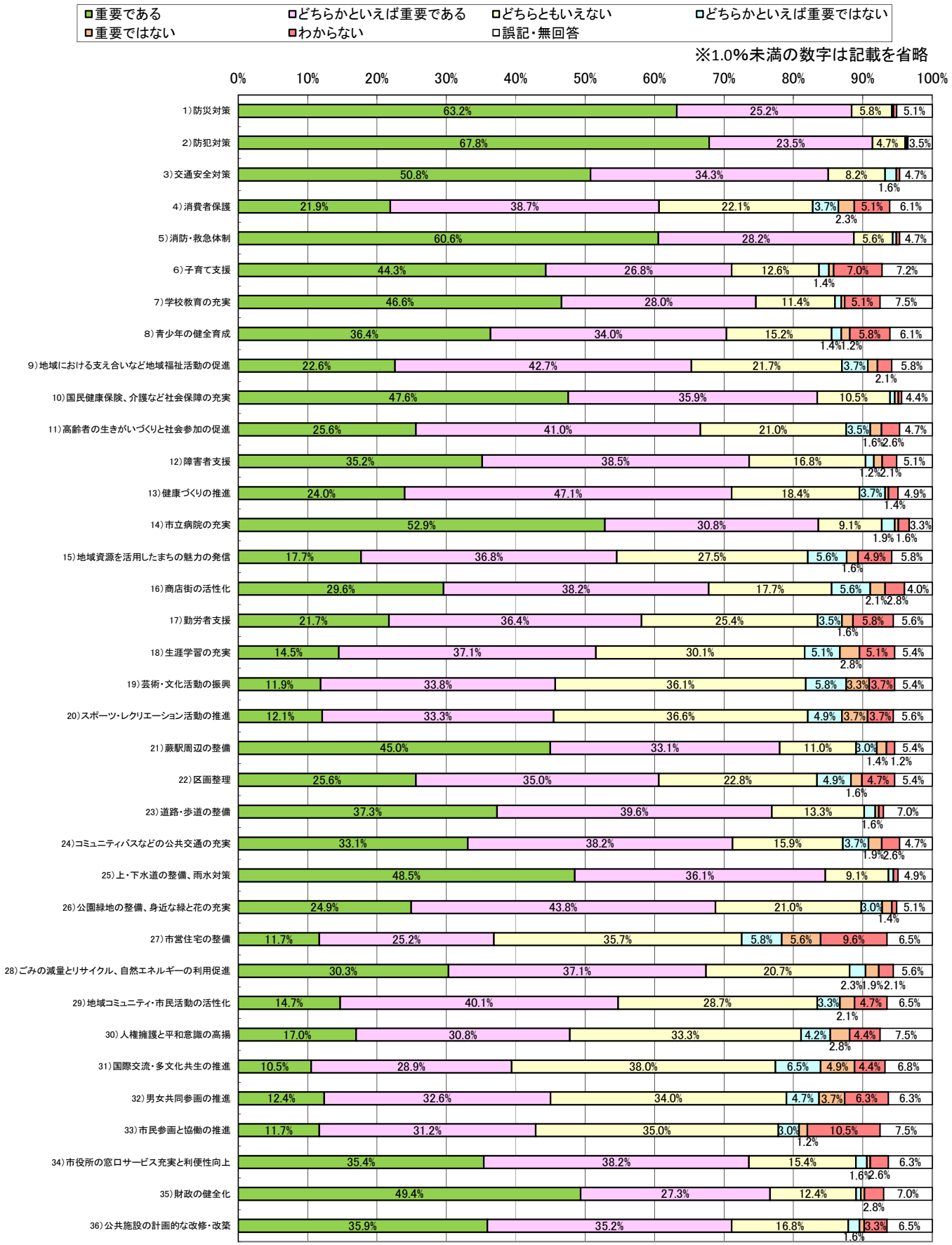
１：重要である　２：どちらかといえば重要である　３：どちらともいえない
４：どちかといえば重要ではない　５：重要ではない　６：わからない

（件）

	1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	順位
【安全で安心して暮らせるまち】									（ ）内は昨年の順位
１）防災対策	271	108	25	1	0	2	22	4.60	2(2)
２）防犯対策	291	101	20	0	1	1	15	4.65	1(1)
３）交通安全対策	218	147	35	7	0	2	20	4.42	4(4)
４）消費者保護	94	166	95	16	10	22	26	3.83	25(18)
５）消防・救急体制	260	121	24	2	0	2	20	4.57	3(3)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】									
６）子育て支援	190	115	54	6	3	30	31	4.31	10(8)
７）学校教育の充実	200	120	49	4	2	22	32	4.37	8(9)
８）青少年の健全育成	156	146	65	6	5	25	26	4.17	13(13)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】									
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	97	183	93	16	6	9	25	3.88	23(22)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	204	154	45	3	2	2	19	4.36	9(7)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	110	176	90	15	7	11	20	3.92	22(24)
12）障害者支援	151	165	72	5	5	9	22	4.14	16(15)
13）健康づくりの推進	103	202	79	16	2	6	21	3.97	19(20)
14）市立病院の充実	227	132	39	8	2	7	14	4.41	5(5)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】									
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	76	158	118	24	7	21	25	3.71	27(27)
16）商店街の活性化	127	164	76	24	9	12	17	3.94	20(23)
17）勤労者支援	93	156	109	15	7	25	24	3.82	26(25)
18）生涯学習の充実	62	159	129	22	12	22	23	3.62	30(29)
19）芸術・文化活動の振興	51	145	155	25	14	16	23	3.50	34(33)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	52	143	157	21	16	16	24	3.50	33(32)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】									
21）蕨駅周辺の整備	193	142	47	13	6	5	23	4.25	11(12)
22）区画整理	110	150	98	21	7	20	23	3.87	24(26)
23）道路・歩道の整備	160	170	57	7	2	3	30	4.21	12(11)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	142	164	68	16	8	11	20	4.05	17(21)
25）上・下水道の整備、雨水対策	208	155	39	3	0	3	21	4.40	6(10)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	107	188	90	13	6	3	22	3.93	21(19)
27）市営住宅の整備	50	108	153	25	24	41	28	3.38	36(35)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	130	159	89	10	8	9	24	3.99	18(17)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】									
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	63	172	123	14	9	20	28	3.70	28(28)
30）人権擁護と平和意識の高揚	73	132	143	18	12	19	32	3.62	29(30)
31）国際交流・多文化共生の推進	45	124	163	28	21	19	29	3.38	35(36)
32）男女共同参画の推進	53	140	146	20	16	27	27	3.52	32(34)
【その他】									
33）市民参画と協働の推進	50	134	150	13	5	45	32	3.60	31(31)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	152	164	66	7	2	11	27	4.17	14(14)
35）財政の健全化	212	117	53	3	2	12	30	4.38	7(6)
36）公共施設の計画的な改修・改築	154	151	72	7	3	14	28	4.15	15(16)

施策重要度平均	4.01

施策重要度　回答別割合


■重要である
■どちらかといえば重要である
■どちらともいえない
■どちらかといえば重要ではない
■重要ではない
■わからない
□誤記・無回答
※1.0%未満の数字は記載を省略
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1）防災対策 63.2% 25.2% 5.8% 5.1%
2）防犯対策 67.8% 23.5% 4.7% 3.5%
3）交通安全対策 50.8% 34.3% 8.2% 1.6% 4.7%
4）消費者保護 21.9% 38.7% 22.1% 3.7% 2.3% 5.1% 6.1%
5）消防・救急体制 60.6% 28.2% 5.6% 4.7%
6）子育て支援 44.3% 26.8% 12.6% 1.4% 7.0% 7.2%
7）学校教育の充実 46.6% 28.0% 11.4% 5.1% 7.5%
8）青少年の健全育成 36.4% 34.0% 15.2% 1.4% 1.2% 5.8% 6.1%
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進 22.6% 42.7% 21.7% 3.7% 2.1% 5.8%
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実 47.6% 35.9% 10.5% 4.4%
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 25.6% 41.0% 21.0% 3.5% 1.6% 2.6% 4.7%
12）障害者支援 35.2% 38.5% 16.8% 1.2% 2.1% 5.1%
13）健康づくりの推進 24.0% 47.1% 18.4% 3.7% 1.4% 4.9%
14）市立病院の充実 52.9% 30.8% 9.1% 1.9% 1.6% 3.3%
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信 17.7% 36.8% 27.5% 5.6% 1.6% 4.9% 5.8%
16）商店街の活性化 29.6% 38.2% 17.7% 5.6% 2.1% 2.8% 4.0%
17）勤労者支援 21.7% 36.4% 25.4% 3.5% 1.6% 5.8% 5.6%
18）生涯学習の充実 14.5% 37.1% 30.1% 5.1% 2.8% 5.1% 5.4%
19）芸術・文化活動の振興 11.9% 33.8% 36.1% 5.8% 3.3% 3.7% 5.4%
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進 12.1% 33.3% 36.6% 4.9% 3.7% 3.7% 5.6%
21）蕨駅周辺の整備 45.0% 33.1% 11.0% 3.0% 1.4% 1.2% 5.4%
22）区画整理 25.6% 35.0% 22.8% 4.9% 1.6% 4.7% 5.4%
23）道路・歩道の整備 37.3% 39.6% 13.3% 1.6% 7.0%
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実 33.1% 38.2% 15.9% 3.7% 1.9% 2.6% 4.7%
25）上・下水道の整備、雨水対策 48.5% 36.1% 9.1% 4.9%
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実 24.9% 43.8% 21.0% 3.0% 1.4% 5.1%
27）市営住宅の整備 11.7% 25.2% 35.7% 5.8% 5.6% 9.6% 6.5%
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進 30.3% 37.1% 20.7% 2.3% 1.9% 2.1% 5.6%
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化 14.7% 40.1% 28.7% 3.3% 2.1% 4.7% 6.5%
30）人権擁護と平和意識の高揚 17.0% 30.8% 33.3% 4.2% 2.8% 4.4% 7.5%
31）国際交流・多文化共生の推進 10.5% 28.9% 38.0% 6.5% 4.9% 4.4% 6.8%
32）男女共同参画の推進 12.4% 32.6% 34.0% 4.7% 3.7% 6.3% 6.3%
33）市民参画と協働の推進 11.7% 31.2% 35.0% 3.0% 1.2% 10.5% 7.5%
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上 35.4% 38.2% 15.4% 1.6% 2.6% 6.3%
35）財政の健全化 49.4% 27.3% 12.4% 2.8% 7.0%
36）公共施設の計画的な改修・改築 35.9% 35.2% 16.8% 1.6% 3.3% 6.5%

平均値順（重要度）

※各項目の上位３つは黄色、下位３つは緑色で網掛け。

順位	項　目	1	2	3	4	5	6	平均値	H30	H29	H28	過去3か年平均	3か年平均との比較
1	２）防犯対策	291	101	20	0	1	1	4.65	4.73	4.69	4.66	4.69	▲ 0.04
2	１）防災対策	271	108	25	1	0	2	4.60	4.69	4.68	4.72	4.70	▲ 0.10
3	５）消防・救急体制	260	121	24	2	0	2	4.57	4.68	4.61	4.63	4.64	▲ 0.07
4	３）交通安全対策	218	147	35	7	0	2	4.42	4.56	4.46	4.44	4.49	▲ 0.07
5	14）市立病院の充実	227	132	39	8	2	7	4.41	4.45	4.37	4.37	4.40	0.01
6	25）上・下水道の整備、雨水対策	208	155	39	3	0	3	4.40	4.36	4.44	4.39	4.40	0.00
7	35）財政の健全化	212	117	53	3	2	12	4.38	4.44	4.42	4.38	4.41	▲ 0.03
8	７）学校教育の充実	200	120	49	4	2	22	4.37	4.38	4.41	4.39	4.39	▲ 0.02
9	10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	204	154	45	3	2	2	4.36	4.42	4.43	4.46	4.44	▲ 0.08
10	６）子育て支援	190	115	54	6	3	30	4.31	4.42	4.40	4.38	4.40	▲ 0.09
11	21）蕨駅周辺の整備	193	142	47	13	6	5	4.25	4.27	4.32	4.19	4.26	▲ 0.01
12	23）道路・歩道の整備	160	170	57	7	2	3	4.21	4.29	4.28	4.23	4.27	▲ 0.06
13	８）青少年の健全育成	156	146	65	6	5	25	4.17	4.24	4.19	4.25	4.23	▲ 0.06
14	34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	152	164	66	7	2	11	4.17	4.22	4.19	4.12	4.18	▲ 0.01
15	36）公共施設の計画的な改修・改築	154	151	72	7	3	14	4.15	4.16	4.19	4.12	4.16	▲ 0.01
16	12）障害者支援	151	165	72	5	5	9	4.14	4.19	4.22	4.21	4.21	▲ 0.07
17	24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	142	164	68	16	8	11	4.05	3.97	4.05	3.94	3.99	0.06
18	28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	130	159	89	10	8	9	3.99	4.13	4.03	4.05	4.07	▲ 0.08
19	13）健康づくりの推進	103	202	79	16	2	6	3.97	4.04	4.03	4.03	4.03	▲ 0.06
20	16）商店街の活性化	127	164	76	24	9	12	3.94	3.95	4.07	3.95	3.99	▲ 0.05
21	26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	107	188	90	13	6	3	3.93	4.07	4.07	3.99	4.04	▲ 0.11
22	11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	110	176	90	15	7	11	3.92	3.95	4.08	4.00	4.01	▲ 0.09
23	９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	97	183	93	16	6	9	3.88	3.96	4.05	3.98	4.00	▲ 0.12
24	22）区画整理	110	150	98	21	7	20	3.87	3.88	3.87	3.79	3.85	0.02
25	４）消費者保護	94	166	95	16	10	22	3.83	4.08	4.04	3.96	4.03	▲ 0.20
26	17）勤労者支援	93	156	109	15	7	25	3.82	3.88	3.92	3.85	3.88	▲ 0.06
27	15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	76	158	118	24	7	21	3.71	3.79	3.76	3.73	3.76	▲ 0.05
28	29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	63	172	123	14	9	20	3.70	3.76	3.80	3.69	3.75	▲ 0.05
29	30）人権擁護と平和意識の高揚	73	132	143	18	12	19	3.62	3.67	3.75	3.67	3.70	▲ 0.08
30	18）生涯学習の充実	62	159	129	22	12	22	3.62	3.69	3.76	3.69	3.71	▲ 0.09
31	33）市民参画と協働の推進	50	134	150	13	5	45	3.60	3.63	3.67	3.60	3.63	▲ 0.03
32	32）男女共同参画の推進	53	140	146	20	16	27	3.52	3.51	3.55	3.47	3.51	0.01
33	20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	52	143	157	21	16	16	3.50	3.59	3.60	3.61	3.60	▲ 0.10
34	19）芸術・文化活動の振興	51	145	155	25	14	16	3.50	3.55	3.60	3.59	3.58	▲ 0.08
35	31）国際交流・多文化共生の推進	45	124	163	28	21	19	3.38	3.32	3.40	3.30	3.34	0.04
36	27）市営住宅の整備	50	108	153	25	24	41	3.38	3.40	3.46	3.39	3.42	▲ 0.04
				施策重要度平均				4.01	4.06	4.08	4.03	4.06	▲ 0.05

●市民が重要と思う施策は、平均値からみると、１位「防犯対策」（前年１位）、２位「防災対策」（前年２位）、３位「消防・救急体制」（前年３位）となり、昨年度に続いて【安全で安心して暮らせるまち】の分野が上位を占めています。それに対し、「市営住宅の整備」、「国際交流・多文化共生の推進」、「芸術・文化活動の振興」などの施策は、重要度が下位となっており、各項目の順位はこれまでと似たような傾向となっています。

●施策全体の平均が過去３か年平均よりも0.05ポイント減少しています。上昇している施策としては、「コミュニティバスなどの公共交通の充実」、「国際交流・多文化共生の推進」、「区画整理」と続き、減少している施策としては、「消費者保護」、「地域における支え合いなど地域福祉活動の促進」、「公園緑地の整備、身近な緑と花の充実」と続いています。

● **重点施策（満足度）**　※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問26	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。１～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

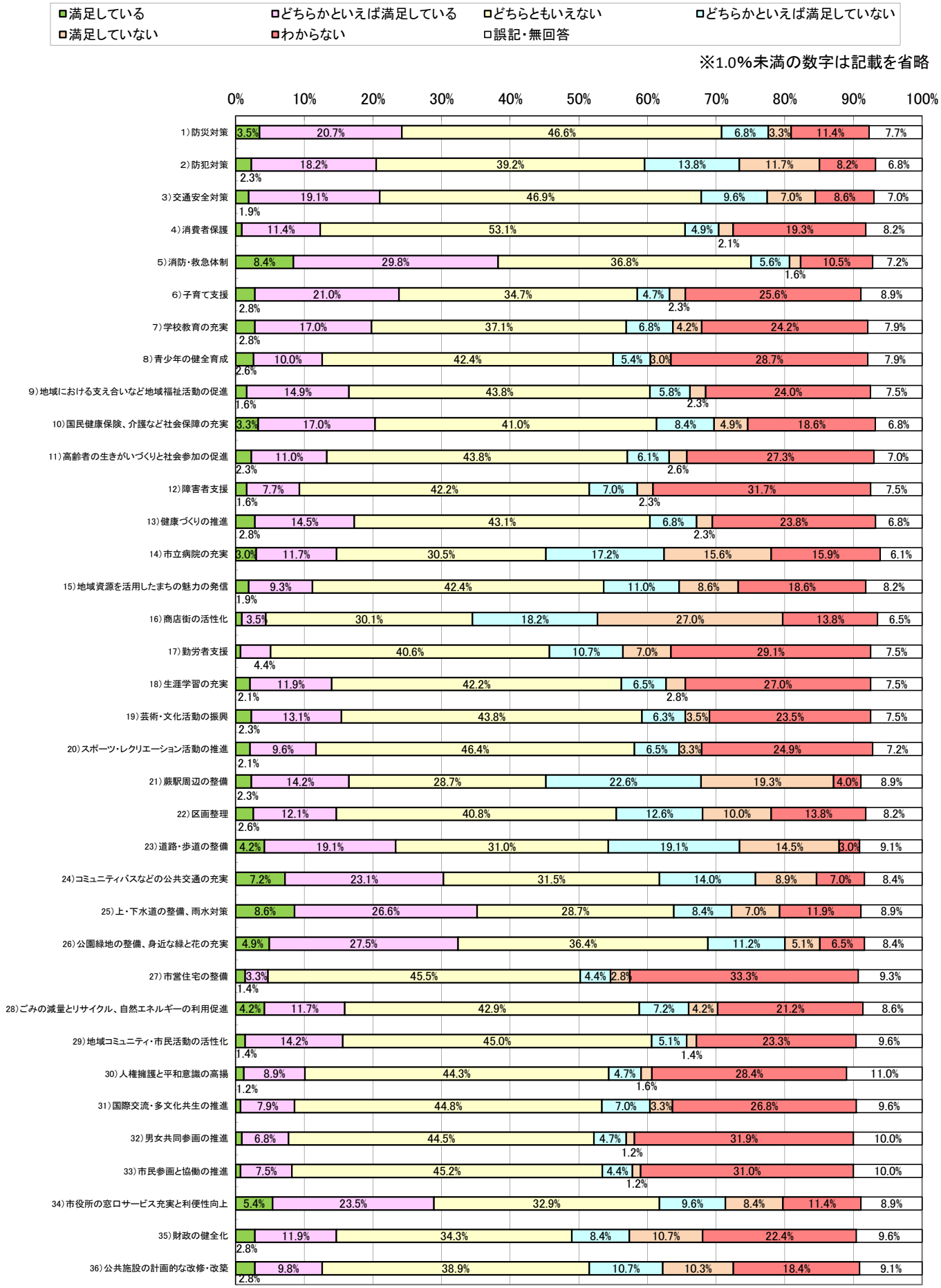
１：満足している　２：どちらかといえば満足している　３：どちらともいえない
４：どちかといえば満足していない　５：満足していない　６：わからない

（件）

	1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	順位
【安全で安心して暮らせるまち】									（ ）内は昨年の順位
１）防災対策	15	89	200	29	14	49	33	3.18	5(4)
２）防犯対策	10	78	168	59	50	35	29	2.83	27(24)
３）交通安全対策	8	82	201	41	30	37	30	2.99	23(18)
４）消費者保護	4	49	228	21	9	83	35	3.06	18(12)
５）消防・救急体制	36	128	158	24	7	45	31	3.46	1(1)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】									
６）子育て支援	12	90	149	20	10	110	38	3.26	3(2)
７）学校教育の充実	12	73	159	29	18	104	34	3.11	9(9)
８）青少年の健全育成	11	43	182	23	13	123	34	3.06	17(15)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】									
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	7	64	188	25	10	103	32	3.11	8(10)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	14	73	176	36	21	80	29	3.07	11(11)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	10	47	188	26	11	117	30	3.07	13(16)
12）障害者支援	7	33	181	30	10	136	32	2.99	24(24)
13）健康づくりの推進	12	62	185	29	10	102	29	3.12	7(3)
14）市立病院の充実	13	50	131	74	67	68	26	2.61	34(34)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】									
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	8	40	182	47	37	80	35	2.79	30(31)
16）商店街の活性化	4	15	129	78	116	59	28	2.16	36(36)
17）勤労者支援	3	19	174	46	30	125	32	2.70	33(33)
18）生涯学習の充実	9	51	181	28	12	116	32	3.06	16(20)
19）芸術・文化活動の振興	10	56	188	27	15	101	32	3.06	14(21)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	9	41	199	28	14	107	31	3.01	22(22)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】									
21）蕨駅周辺の整備	10	61	123	97	83	17	38	2.51	35(35)
22）区画整理	11	52	175	54	43	59	35	2.80	29(30)
23）道路・歩道の整備	18	82	133	82	62	13	39	2.77	32(32)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	31	99	135	60	38	30	36	3.07	12(5)
25）上・下水道の整備、雨水対策	37	114	123	36	30	51	38	3.27	2(7)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	21	118	156	48	22	28	36	3.19	4(6)
27）市営住宅の整備	6	14	195	19	12	143	40	2.93	26(27)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	18	50	184	31	18	91	37	3.06	15(14)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】									
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	6	61	193	22	6	100	41	3.14	6(8)
30）人権擁護と平和意識の高揚	5	38	190	20	7	122	47	3.05	19(13)
31）国際交流・多文化共生の推進	3	34	192	30	14	115	41	2.93	25(26)
32）男女共同参画の推進	4	29	191	20	5	137	43	3.03	21(19)
【その他】									
33）市民参画と協働の推進	3	32	194	19	5	133	43	3.04	20(23)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	23	101	141	41	36	49	38	3.10	10(17)
35）財政の健全化	12	51	147	36	46	96	41	2.82	28(29)
36）公共施設の計画的な改修・改築	12	42	167	46	44	79	39	2.78	31(28)

施策満足度平均	2.98

施策満足度　回答別割合


満足している
どちらかといえば満足している
どちらともいえない
どちらかといえば満足していない
満足していない
わからない
誤記・無回答
※1.0%未満の数字は記載を省略
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1）防災対策 3.5% 20.7% 46.6% 6.8% 3.3% 11.4% 7.7%
2）防犯対策 2.3% 18.2% 39.2% 13.8% 11.7% 8.2% 6.8%
3）交通安全対策 1.9% 19.1% 46.9% 9.6% 7.0% 8.6% 7.0%
4）消費者保護 11.4% 53.1% 4.9% 2.1% 19.3% 8.2%
5）消防・救急体制 8.4% 29.8% 36.8% 5.6% 1.6% 10.5% 7.2%
6）子育て支援 2.8% 21.0% 34.7% 4.7% 2.3% 25.6% 8.9%
7）学校教育の充実 2.8% 17.0% 37.1% 6.8% 4.2% 24.2% 7.9%
8）青少年の健全育成 2.6% 10.0% 42.4% 5.4% 3.0% 28.7% 7.9%
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進 1.6% 14.9% 43.8% 5.8% 2.3% 24.0% 7.5%
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実 3.3% 17.0% 41.0% 8.4% 4.9% 18.6% 6.8%
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 2.3% 11.0% 43.8% 6.1% 2.6% 27.3% 7.0%
12）障害者支援 1.6% 7.7% 42.2% 7.0% 2.3% 31.7% 7.5%
13）健康づくりの推進 2.8% 14.5% 43.1% 6.8% 2.3% 23.8% 6.8%
14）市立病院の充実 3.0% 11.7% 30.5% 17.2% 15.6% 15.9% 6.1%
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信 1.9% 9.3% 42.4% 11.0% 8.6% 18.6% 8.2%
16）商店街の活性化 3.5% 30.1% 18.2% 27.0% 13.8% 6.5%
17）勤労者支援 4.4% 40.6% 10.7% 7.0% 29.1% 7.5%
18）生涯学習の充実 2.1% 11.9% 42.2% 6.5% 2.8% 27.0% 7.5%
19）芸術・文化活動の振興 2.3% 13.1% 43.8% 6.3% 3.5% 23.5% 7.5%
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進 2.1% 9.6% 46.4% 6.5% 3.3% 24.9% 7.2%
21）藤駅周辺の整備 2.3% 14.2% 28.7% 22.6% 19.3% 4.0% 8.9%
22）区画整理 2.6% 12.1% 40.8% 12.6% 10.0% 13.8% 8.2%
23）道路・歩道の整備 4.2% 19.1% 31.0% 19.1% 14.5% 3.0% 9.1%
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実 7.2% 23.1% 31.5% 14.0% 8.9% 7.0% 8.4%
25）上・下水道の整備、雨水対策 8.6% 26.6% 28.7% 8.4% 7.0% 11.9% 8.9%
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実 4.9% 27.5% 36.4% 11.2% 5.1% 6.5% 8.4%
27）市営住宅の整備 1.4% 3.3% 45.5% 4.4% 2.8% 33.3% 9.3%
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進 4.2% 11.7% 42.9% 7.2% 4.2% 21.2% 8.6%
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化 1.4% 14.2% 45.0% 5.1% 1.4% 23.3% 9.6%
30）人権擁護と平和意識の高揚 1.2% 8.9% 44.3% 4.7% 1.6% 28.4% 11.0%
31）国際交流・多文化共生の推進 7.9% 44.8% 7.0% 3.3% 26.8% 9.6%
32）男女共同参画の推進 6.8% 44.5% 4.7% 1.2% 31.9% 10.0%
33）市民参画と協働の推進 7.5% 45.2% 4.4% 1.2% 31.0% 10.0%
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上 5.4% 23.5% 32.9% 9.6% 8.4% 11.4% 8.9%
35）財政の健全化 2.8% 11.9% 34.3% 8.4% 10.7% 22.4% 9.6%
36）公共施設の計画的な改修・改築 2.8% 9.8% 38.9% 10.7% 10.3% 18.4% 9.1%

平均値順（満足度）

※各項目の上位３つは黄色、下位３つは緑色で網掛け。

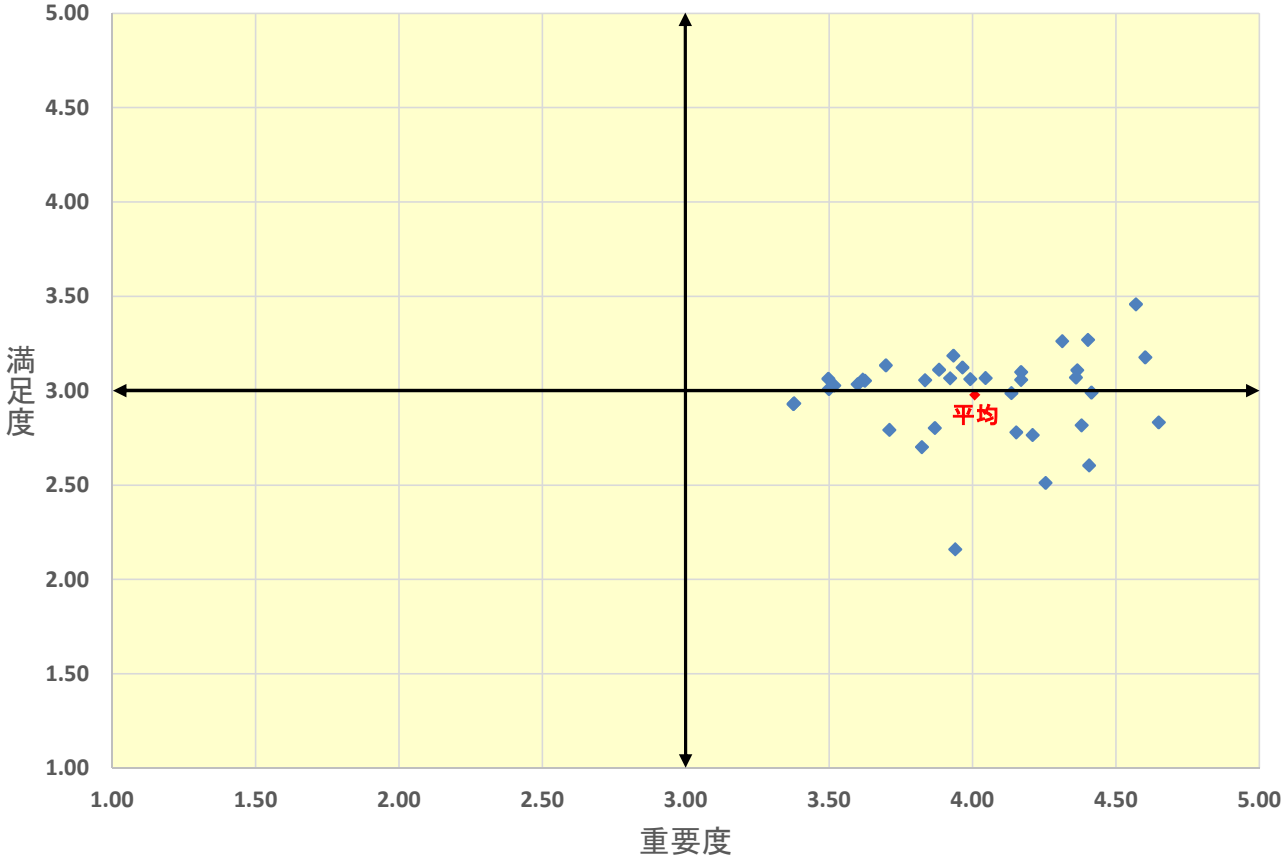
順位	項　目	1	2	3	4	5	6	平均値	H30	H29	H28	過去3か年平均	3か年平均との比較
1	５）消防・救急体制	36	128	158	24	7	45	3.46	3.46	3.53	3.42	3.47	▲ 0.01
2	25）上・下水道の整備、雨水対策	37	114	123	36	30	51	3.27	3.15	3.21	3.31	3.22	0.05
3	６）子育て支援	12	90	149	20	10	110	3.26	3.29	3.28	3.28	3.28	▲ 0.02
4	26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	21	118	156	48	22	28	3.19	3.19	3.17	3.22	3.19	0.00
5	１）防災対策	15	89	200	29	14	49	3.18	3.25	3.26	3.20	3.24	▲ 0.06
6	29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	6	61	193	22	6	100	3.14	3.14	3.12	3.17	3.14	0.00
7	13）健康づくりの推進	12	62	185	29	10	102	3.12	3.27	3.16	3.14	3.19	▲ 0.07
8	９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	7	64	188	25	10	103	3.11	3.11	3.15	3.10	3.12	▲ 0.01
9	７）学校教育の充実	12	73	159	29	18	104	3.11	3.12	3.19	3.14	3.15	▲ 0.04
10	34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	23	101	141	41	36	49	3.10	3.08	3.02	3.11	3.07	0.03
11	10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	14	73	176	36	21	80	3.07	3.11	3.09	3.07	3.09	▲ 0.02
12	24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	31	99	135	60	38	30	3.07	3.19	3.21	3.27	3.22	▲ 0.15
13	11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	10	47	188	26	11	117	3.07	3.08	3.02	3.03	3.04	0.03
14	19）芸術・文化活動の振興	10	56	188	27	15	101	3.06	3.05	2.94	3.00	3.00	0.06
15	28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	18	50	184	31	18	91	3.06	3.09	3.11	3.07	3.09	▲ 0.03
16	18）生涯学習の充実	9	51	181	28	12	116	3.06	3.05	2.99	3.00	3.01	0.05
17	８）青少年の健全育成	11	43	182	23	13	123	3.06	3.08	3.12	3.03	3.08	▲ 0.02
18	４）消費者保護	4	49	228	21	9	83	3.06	3.09	3.12	3.07	3.09	▲ 0.03
19	30）人権擁護と平和意識の高揚	5	38	190	20	7	122	3.05	3.09	3.09	3.08	3.09	▲ 0.04
20	33）市民参画と協働の推進	3	32	194	19	5	133	3.04	3.01	2.98	3.02	3.00	0.04
21	32）男女共同参画の推進	4	29	191	20	5	137	3.03	3.05	3.02	3.03	3.03	0.00
22	20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	9	41	199	28	14	107	3.01	3.02	2.94	2.99	2.98	0.03
23	３）交通安全対策	8	82	201	41	30	37	2.99	3.07	3.10	3.07	3.08	▲ 0.09
24	12）障害者支援	7	33	181	30	10	136	2.99	3.00	3.07	3.06	3.04	▲ 0.05
25	31）国際交流・多文化共生の推進	3	34	192	30	14	115	2.93	2.96	2.97	3.01	2.98	▲ 0.05
26	27）市営住宅の整備	6	14	195	19	12	143	2.93	2.96	2.93	2.94	2.94	▲ 0.01
27	２）防犯対策	10	78	168	59	50	35	2.83	3.00	3.10	2.98	3.03	▲ 0.20
28	35）財政の健全化	12	51	147	36	46	96	2.82	2.89	2.88	2.97	2.91	▲ 0.09
29	22）区画整理	11	52	175	54	43	59	2.80	2.88	2.99	2.84	2.90	▲ 0.10
30	15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	8	40	182	47	37	80	2.79	2.84	2.79	2.84	2.82	▲ 0.03
31	36）公共施設の計画的な改修・改築	12	42	167	46	44	79	2.78	2.91	2.95	2.94	2.93	▲ 0.15
32	23）道路・歩道の整備	18	82	133	82	62	13	2.77	2.82	2.88	2.80	2.83	▲ 0.06
33	17）勤労者支援	3	19	174	46	30	125	2.70	2.76	2.73	2.67	2.72	▲ 0.02
34	14）市立病院の充実	13	50	131	74	67	68	2.61	2.67	2.74	2.67	2.69	▲ 0.08
35	21）蕨駅周辺の整備	10	61	123	97	83	17	2.51	2.60	2.67	2.69	2.65	▲ 0.14
36	16）商店街の活性化	4	15	129	78	116	59	2.16	2.23	2.24	2.36	2.28	▲ 0.12
							施策満足度平均	2.98	3.02	3.02	3.02	3.02	▲ 0.04

●市民の満足度が高い施策は、１位「消防・救急体制」（前年１位）、２位「上・下水道の整備、雨水対策」（前年７位）、３位「子育て支援」（前年２位）となっています。それに対し、「商店街の活性化」、「蕨駅周辺の整備」、「市立病院の充実」は、満足度が低くなっており、各項目の順位に若干の上下動が見られます。

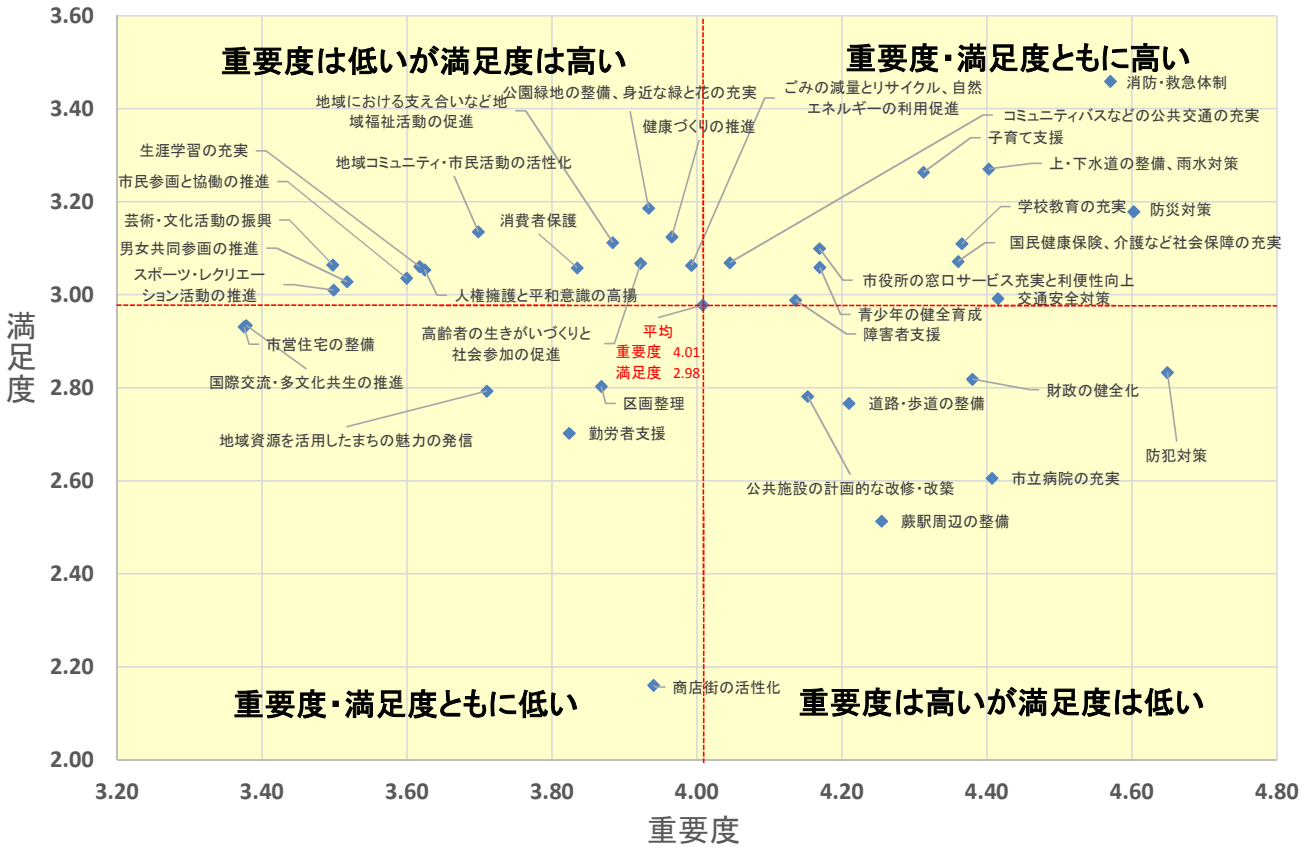
●施策全体の平均が過去３か年平均よりも0.04ポイント減少しています。上昇している施策としては、「芸術・文化活動の振興」、「上・下水道の整備、雨水対策」、「生涯学習の充実」と続き、減少している施策としては、「防犯対策」、「コミュニティバスなどの公共交通の充実」、「公共施設の計画的な改修・改築」と続いています。

●満足度は「わからない」という回答が全体に多く、市民が日常生活の中で関わりを実感しにくい施策については、その効果がよく分からないことが考えられます。そうした傾向が顕著な施策としては、「わからない」の割合が３割を超える「市営住宅の整備」、「男女共同参画の推進」、「障害者支援」、「市民参画と協働の推進」などが挙げられます。

ポジショニングマップ（全体）



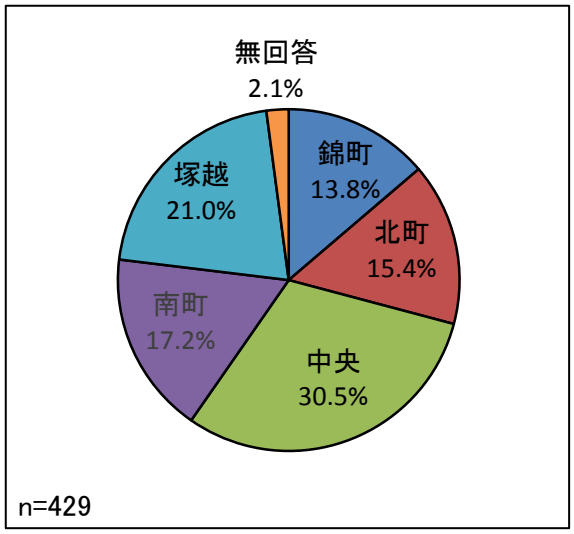
ポジショニングマップ（拡大図）



【属　性】

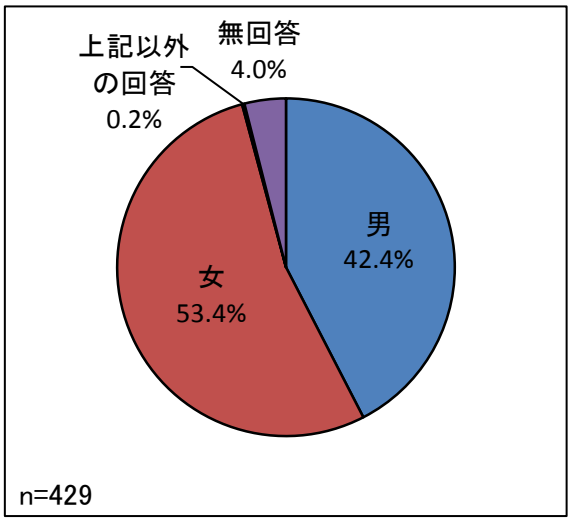
ア. 地区

回答対象者:429人	件数	割合	参考 抽出割合
錦町	59	13.8%	15.4%
北町	66	15.4%	15.6%
中央	131	30.5%	29.2%
南町	74	17.2%	17.2%
塚越	90	21.0%	22.6%
無回答	9	2.1%	



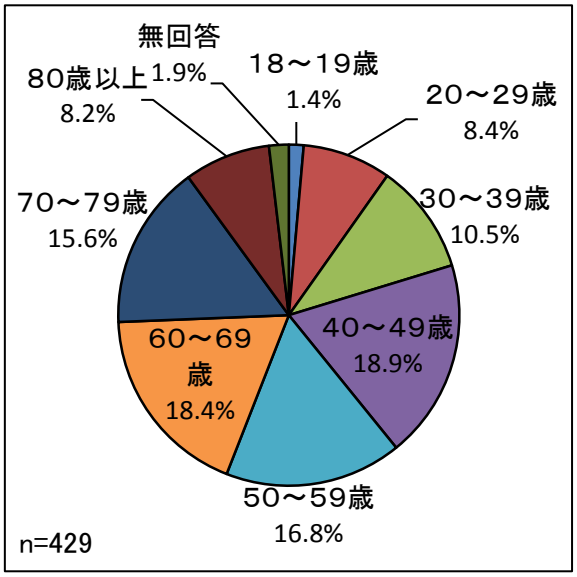
イ. 性別

回答対象者:429人	件数	割合	参考 抽出割合
男	182	42.4%	50.7%
女	229	53.4%	49.3%
上記以外の回答	1	0.2%	
無回答	17	4.0%	



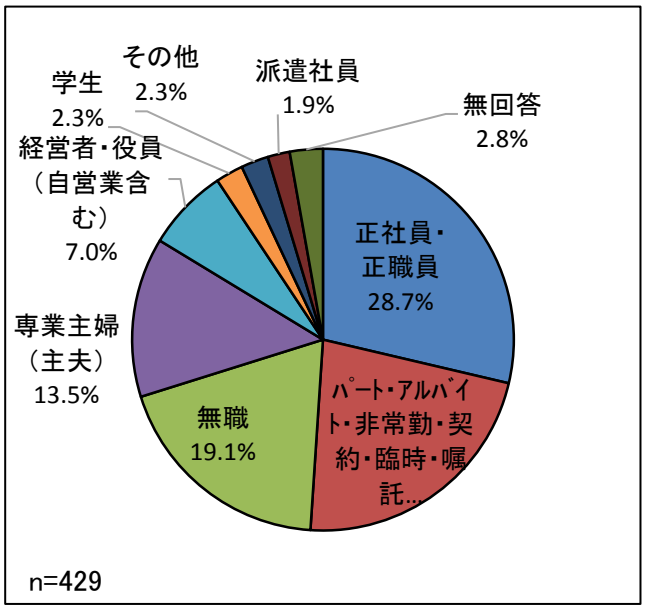
ウ. 年齢層

回答対象者:429人	件数	割合	参考 抽出割合
18～19歳	6	1.4%	1.9%
20～29歳	36	8.4%	14.1%
30～39歳	45	10.5%	15.0%
40～49歳	81	18.9%	17.7%
50～59歳	72	16.8%	15.7%
60～69歳	79	18.4%	13.7%
70～79歳	67	15.6%	13.2%
80歳以上	35	8.2%	8.7%
無回答	8	1.9%	



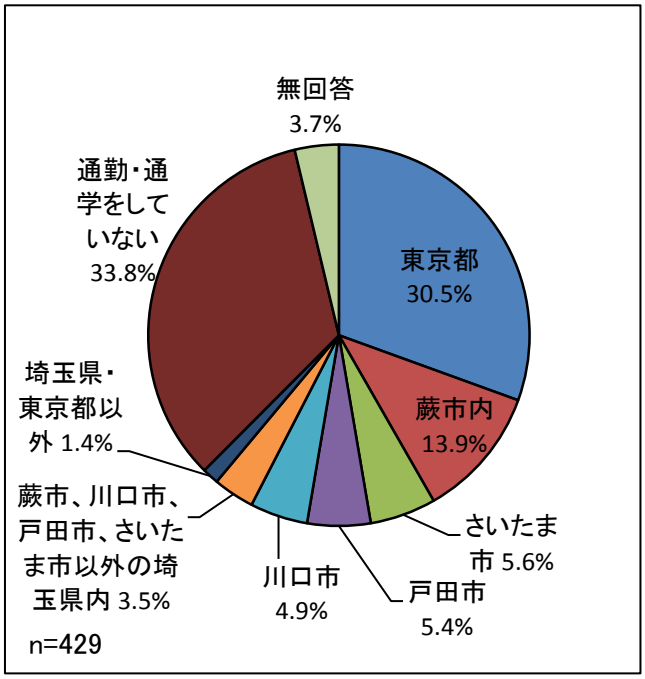
エ. 職業

回答対象者:429人	件数	割合	順位
正社員・正職員	123	28.7%	1
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ・非常勤・契約・臨時・嘱託	96	22.4%	2
無職	82	19.1%	3
専業主婦 （主夫）	58	13.5%	4
経営者・役員（自営業含む）	30	7.0%	5
学生	10	2.3%	6
その他	10	2.3%	6
派遣社員	8	1.9%	8
無回答	12	2.8%	



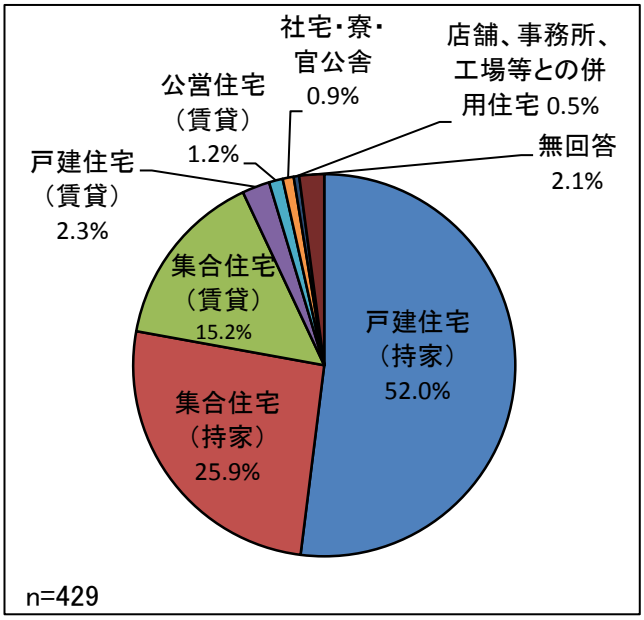
オ. 通勤・通学地

回答対象者:429人	件数	割合	順位
東京都	131	30.5%	1
蕨市内	48	11.2%	2
さいたま市	24	5.6%	3
戸田市	23	5.4%	4
川口市	21	4.9%	5
蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	15	3.5%	6
埼玉県・東京都以外	6	1.4%	7
通勤・通学をしていない	145	33.8%	
無回答	16	3.7%	



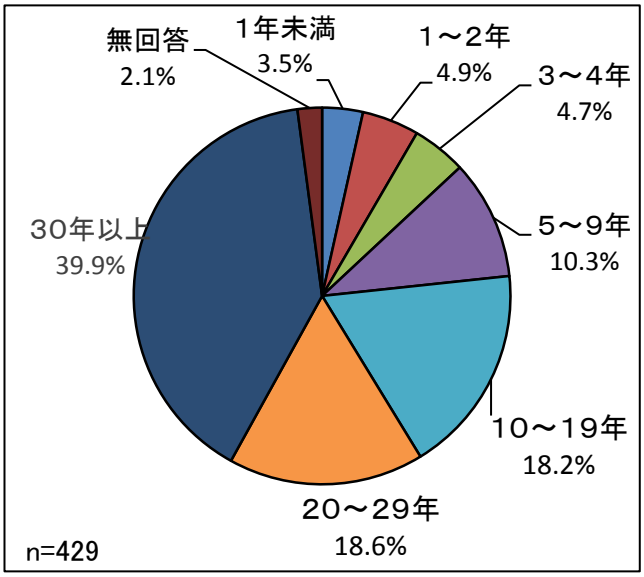
カ. 住宅形態

回答対象者:429人	件数	割合	順位
戸建住宅（持家）	223	52.0%	1
集合住宅（持家）	111	25.9%	2
集合住宅（賃貸）	65	15.2%	3
戸建住宅（賃貸）	10	2.3%	4
公営住宅（賃貸）	5	1.2%	5
社宅・寮・官公舎	4	0.9%	6
店舗、事務所、工場等との併用住宅	2	0.5%	7
無回答	9	2.1%	



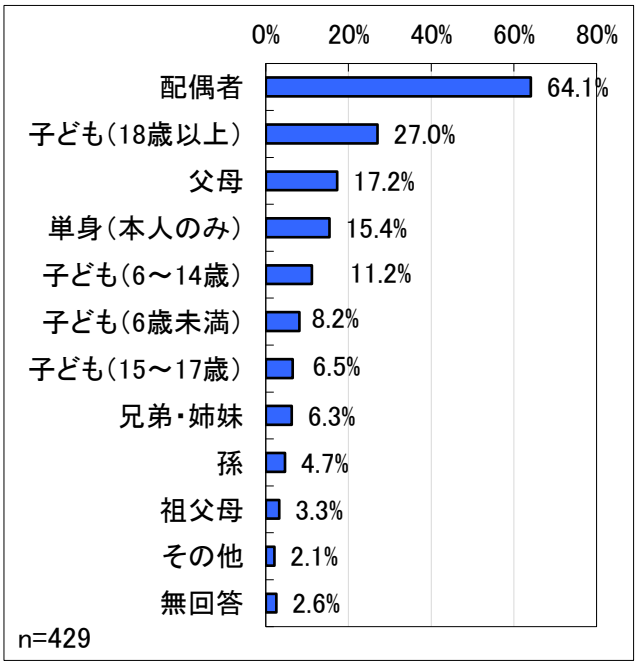
キ. 居住年数

回答対象者:429人	件数	割合	順位
1年未満	15	3.5%	7
1～2年	21	4.9%	5
3～4年	20	4.7%	6
5～9年	44	10.3%	4
10～19年	77	17.9%	2
20～29年	72	16.8%	3
30年以上	171	39.9%	1
無回答	9	2.1%	



ク. 家族構成

回答対象者:429人	件数	割合	順位
配偶者	275	64.1%	1
子ども(18歳以上)	116	27.0%	2
父母	74	17.2%	3
単身(本人のみ)	66	15.4%	4
子ども(6～14歳)	48	11.2%	5
子ども(6歳未満)	35	8.2%	6
子ども(15～17歳)	28	6.5%	7
兄弟・姉妹	27	6.3%	8
孫	20	4.7%	9
祖父母	14	3.3%	10
その他	9	2.1%	11
無回答	11	2.6%	



令和元年度市民意識調査報告書

令和元年11月発行

発　行　　蕨　市
編　集　　蕨市総務部政策企画室

〒335－8501　蕨市中央5－14－15
電　　話　　048－433－7698
E-Mail　　seisaku@city.warabi.saitama.jp